

3 村民等意見調査

3.1 アンケート調査計画

3.1.1 実施目的

本調査は、中札内村の景観形成について、村の景観に関する関心や印象、景観資源の洗い出しや評価、景観形成に関するニーズや課題の把握を目的として実施しました。

3.1.2 調査対象

中札内村の住民を対象としました。

3.1.3 調査方法

村民から広く意見を聴取することから、無作為抽出による標本調査としました。

調査方法は、徴取する回答が年齢属性に偏りが生じないようにするため、郵送回収・郵送配布を採用するものとしました。

3.1.4 調査標本数

標本調査結果として確からしさを考慮し、500 世帯への配布を行いました。

3.1.5 アンケート内容の検討

アンケートの設問は、大きく 3 つのテーマで構成しました。それぞれのテーマごとに明らかにする内容は表 3-1 の通りです。

表 3-1 アンケートの構成

	属性		関心	現況	今後
① 回答者の 属性	- 性別 - 年代 - 職業 - 住居地区 - 出身地 - 村の通算居住年数	② 村の景観 について	- 景観への関心の有無 - 村の景観の印象	- 村らしい景観 - 保全したい景観 - 活用したい景観 - 象徴的な景観の要素 10年間の景観の推移 - 景観を守る必要性 - 村の景観の課題	- ルールの設定方法 - 必要なルール
		③ 景観に 関する 取り組み について	景観を守る活動への関心	これまでの施策の認知度	村に期待する施策、活動

3.1.6 アンケートにて評価する景観資源

アンケート調査では、中札内らしさを表現する景観資源、景観要素について評価を行うことを考えました。

この資源については、自由記述形式の設問では、無数に資源名が列挙されることとなるため、評価がしづらいことから、選択形式を採用するものとししました。

従って、既存文献や庁内へのヒアリング等を行い、選択形式の選択肢を検討しました。検討結果を次頁に示します。

表 3-2 景観資源抽出表

No.	景観資源名	既往資料調査及び庁内ヒアリング結果														価値評価											アンケートの設問に採用			
		行政計画 第7期中札内村計画	条例 中札内村まちづくり基本条例	指針等					景観形成指針	農村景観ガイドプラン	庁内ヒア実施結果	なにかさつないの風景	なにかさつないの景観ツアー	中札内グリーンウォークマップ	既往資料・調査結果得点	既往資料・調査結果得点による 上位（6点以上）	普通価値				固有価値				価値得点 （3点以上）					
				2022	2007	2002	2014	2003									1993	2023	（見えやすさ、見られやすさ）	（利用のしやすさ）	（自然性）	（天然度や原始性）	固有性（他には無い）	（歴史性（古い・歴史がある））		（風土が感じられる・心象）		（他にもあるが貴重である）	親近性（親しみやすい）	価値得点
1	日高山脈襟裳十勝国立公園（仮称）	5													5		1		1		1					3	○	○		
2	日高山脈	5	3	3	2		2				1			1	17	○	1	1		1	1				1	6	○	○		
3	十勝ボロシリ岳（ピリカノカ）	5													6	○	1	1		1	1			1	6	○	○	○		
4	里山丘陵地帯							2			1				3				1				1		3	○				
5	新札内丘陵										1				1				1				1		3	○	○	○		
6	札内川	5	3	3	2		2						1	1	17	○	1		1	1				1	6	○	○	○		
7	ピョウタンの滝（札内川園地）	5					2				1	1	1	1	10	○	1		1	1	1		1		5	○	○	○		
8	恵津美川										1	1		1	3					1					1					
9	ペベギリ川						2								2										0					
10	ペベキキ川						2								2										0					
11	村宮牧場周辺河川					2									2										0					
12	三番川									1				1	2				1	1					2					
13	森林	5													5		1								1					
14	札内川河畔林			3									1		4		1			1	1		1		4	○	○	○		
15	カシワ林・カシワ	5									1	1	1	1	8	○			1				1		3	○	○	○		
16	民有林					2									2										0					
17	防風林（防風保安林・耕地防風林・ふれあいの森・共栄）	5		3	2	2	2			1	1	1	1	17	○	○	1		1	1			1	1	1	6	○	○	○	
18	スズラン	5												1	6	○							1		1		○			
19	ケショウヤナギ						2							1	3							1			1					
20	シラカバ									1	1		1	3											0			○		
21	ヤマハマナシ（カラフトイバラ）													1	1										0					
22	エゾヤマザクラ													1	1										0					
23	コクワ													1	1				1					1	2					
24	カタクリ									1				1	1										0					
25	オオバノエンレイソウ									1				1	1							1		1	2					
26	ミズバショウ									1				1	1										0					
27	ヒバリ	5													5										1					
28	リス、キツネ、シカ、牛									1				1	1							1		1	2					
29	樹氷									1				1	1					1					1					
30	紅葉									1				1	1					1					1					
31	星空									1				1	1		1			1					2					
32	極寒の札内川の川霧									1				1	1		1			1			1		3	○	○	○		
33	紅葉の「美術村の並木道」									1				1	1				1	1				1	4	○	○	○		
34	農地（平坦地形・波状地形・蕃盤目状）			3	2		2				1				8	○		1		1	1			1	4	○	○	○		
35	作物（まめ・メークイン・ひよこ）	5													5				1				1	1	3	○	○	○		
36	牧草地（大規模草地育成牧場）	5								1				6	○			1		1			1		3	○	○	○		
37	牧草ロール・麦稈ロール									1				1	1			1		1			1		3	○	○	○		
38	ジャガイモの花									1				1	1							1			1					
39	国道236号線				2		2								4				1					1	2					
40	道道清水大樹線（道道55号）						2			1			1	4					1						1					
41	村道幹線						2			1				3					1						1					
42	駅前通り						2							2	1				1						1					
43	大通り				2									1	3				1						1	2				
44	すこやかロード									1				1	1				1						1					
45	線路跡の遊歩道													1	1				1						1					
46	共栄の遊歩道												1	1	2				1						1					
47	西札内防災ダム									1	1	1	1	3											0					
48	札内川ダム									1				1	1							1		1	2					
49	一号砂防ダム									1				1	1										0					
50	中央公園						2							1	3				1					1	2			○		
51	鉄道記念公園						2							1	3				1				1	3	○	○	○	○		
52	札内川総合運動公園						2							2	1				1				1	3	○	○	○	○		
53	桜六花公園									1				1	2				1				1	3	○	○	○	○		
54	中札内交流の社 サッカー場													1	1				1					1	2					
55	札内川ダム下流公園										1			1	1				1						1					
56	西札内桜公園									1				1	1				1						1					
57	上札内野草園									1				1	1				1						1					
58	上札内公園（パークゴルフ場）									1				1	1				1					1	2					
59	自然の森									1				1	1				1					1	2					
60	中札内村南札内清流ふれあい広場									1				1	1				1					1	2					
61	碑									1																				

問3 あなたが思う ①中札内らしい景観、②保全したい景観、③活用したい景観はどれですか。

その他に思いつくものがあれば、下記の自由記述欄にご記入ください。(各項目毎に複数回答)

景観に対するあなたのお考え		①中札内らしい景観	②保全したい景観	③活用したい景観
《記入方法例》		○		○
自然	日高山脈襟裳十勝国立公園（仮称）			
	日高山脈			
	十勝ポロシリ岳（ピリカノカ）			
	丘陵（新札内）			
	札内川			
	ピョウタンの滝（札内川園地）			
	札内川河畔林			
	カシワ林・カシワ			
	防風林			
	スズラン			
	極寒の札内川の川霧			
	「美術村の並木道」の紅葉			
農地	農地（平坦地形・波状地形・碁盤目状）			
	牧草地（大規模草地育成牧場）			
	作物（豆、てん菜、小麦、ばれいしょ、卵）			
	牧草ロール・麦稈ロール			
公園	鉄道記念公園			
	札内川総合運動公園			
	桜六花公園			
	中央公園			
歴史的建造物	旧杉村農場サイロ（村有形文化財）			
	中札内神社			
施設	文化創造センター			
	道の駅 なかさつない			
	六花亭アートヴィレッジ 中札内美術村			
	六花の森			
	花畑牧場			
	グランピングリゾート フェーリエンドルフ			
歴史文化	石見神楽			
	ポロシリ太鼓			
	村民盆踊り、上札内de花火			
自由記述				

問4 中札内村の美しい景観まちづくりに向けて、心に残る、シンボルとなるような建物や樹木、まち並みなどがありますか。ある場合は、具体的な名称や場所をご記入ください。

心に残るシンボルとなるような
建物、樹木：
選んだ理由：
美しいまち並み：
選んだ理由：

問5 中札内の景観は、以前（10 年前）と比べてどのように変化したと思いますか。（1つに○）

1. 良くなった	2. 少し良くなった	3. どちらとも言えない
4. 少し悪くなった	5. 悪くなった	6. 住んでいなかったので分からない

問6 あなたは、中札内村の風景・景色をより良く保ち、守り、育てていく必要があると思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。また、その理由をお書きください。

1. 必要がある	2. ある程度必要	3. どちらとも言えない
4. あまり必要とは思わない	5. 必要ない	
上記を選んだ理由		

問7 あなたが住んでいる地域の景観について、景観上好ましくないと感じるものはありますか。次の中から該当するものがあれば番号を○で囲んでください。（複数回答）

1. 周囲のまち並みと調和していない建物（高さ、形態、色彩など）	7. 派手な色使いや大きな看板などの屋外広告物※
2. 良好な景観に影響のある高い建物	8. 電線、電柱、鉄塔類
3. 管理されていない空き家や空き地	9. 太陽光発電施設
4. 手入れが行き届かず荒れた山林や農地	10. まちなかの緑の少なさ
5. ゴミのポイ捨て、不法投棄	11. 特にない
6. 雑然とした資材置き場や野ざらしの集積物	12. その他（ ）

※屋外広告物とは、屋外に掲出される看板、貼り紙、電光表示板、広告塔などのことです。

問 8 中札内村の景観を守り、育てるため、建物や広告物等に対するルールづくりについてどのように思いますか。（1つに○）

1. 村全域に景観を守るため、ゆるやかなルールを設けるとよい
2. 村全域にゆるやかなルール、重要な地区についてはきめ細かなルールを設けるとよい
3. 村全域に景観向上のため、きめ細かなルールを設けるとよい
4. 村全域にはルールを設けず、地域ごとに特性に応じたルールを設けるとよい
5. ルールは必要ない

問 9 上記の質問で1～4に○を付けた方にお聞きします。あなたは、より良い景観づくりのためには、具体的にどのようなルールが必要だと思いますか。それぞれ該当する番号を○で囲んでください。

あなたのお考え 選択肢		必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要ではない	必要ない
《記入方法》1～11、それぞれ1つに○ 「内容がわからず答えられない設問」に対しては、無理にお答えいただくなくてもかまいません。		5	4	3	2	1
1	建物の高さについてのルールづくり	5	4	3	2	1
2	建物の色・形についてのルールづくり	5	4	3	2	1
3	垣、さく、塀、門等の色・形についてのルールづくり	5	4	3	2	1
4	携帯電話用アンテナ、電波塔についてのルールづくり	5	4	3	2	1
5	農業施設や発電施設などの位置や形状などについてのルールづくり	5	4	3	2	1
6	自動販売機についてのルールづくり	5	4	3	2	1
7	土地の開墾を伴う大規模な開発についてのルールづくり	5	4	3	2	1
8	屋外に放置された農業機械などについてのルールづくり	5	4	3	2	1
9	屋外広告物の大きさや色・形などについてのルールづくり	5	4	3	2	1
10	道路などの公共施設（空間）についてのルールづくり	5	4	3	2	1
11	その他（具体的に：_____）					

2 景観に関する取り組みについてお伺いします

問10 中札内村らしい景観を守る、または中札内村を美しくするような活動に対し、あなたは今後どのように関わっていきたいですか。(複数回答)

範囲	選択肢
お住いの建物	1. 自宅の生垣や庭先の植栽等を行うことで住宅地内の緑を増やす
	2. 自宅のエアコン室外機に目隠しをするなど、周辺のまち並みに配慮する
	3. 自宅建物の色彩やデザインを周辺のまち並みに配慮したものにする
地域	4. 建物の色彩やデザイン、緑化等のルールづくりに関する話し合いに参加する
	5. 地域やボランティア団体等によるまちの美化や景観向上に対する活動へ参加する
	6. のぼり旗や看板等の設置の自粛、または大きさや色等を周辺のまち並みに揃える
	7. 行政や地域などが主催する景観に関する勉強会や講演会等へ参加する
他	8. その他 ()
	9. 特になし

問11 中札内村ではこれまでに、村民の方々と協力しながら景観に関して様々な施策等を行ってきました。下記の中から、該当するものに○をつけてください。

主な施策等	知っている（内容も分かる）	知っている（内容は分からない）	知らない
1. 景観ガイドプラン	1	2	3
2. 景観条例	1	2	3
3. 景観形成指針	1	2	3
4. 景観づくり・なかさつないルール	1	2	3
5. なかさつない景観ツアー	1	2	3

問12 村民が景観に関する取り組みを行っていくため、村に期待するものは何ですか。(期待するもの2つまでに○)

1. 景観に関する出前講座やセミナー、講演会などを実施する	4. 地域の景観づくりに対し専門家派遣などの支援を行う
2. 景観に関して子どもから大人までが関心を持てるような取り組みを行う	5. 事業者に対して景観について協力を得られるような仕組みをつくる
3. 地域の景観づくりに取り組む人材育成を支援する	6. その他 ()

問 1 3 中札内村の良好な景観の形成に向けて、意見やアイデアなどがありましたらご記入ください。（自由回答）

**アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。
お手数ですが 11 月 17 日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。**

次のページにワークショップに関する案内を行っておりますので、
そちらもぜひお目通しいただければと思います。

★ワークショップに参加しませんか？★

★ ワークショップとは

さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめていく場です。



★ 「中札内村景観計画」の策定にあたり、村民のみなさまのご意見を直接伺うために、村民参加のワークショップを開催する予定です。

参加をご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号をご記入ください。ワークショップの詳細確定後、参加確認のご連絡を差し上げます。

ふりがな お名前		年齢 ※差し支えなければ記入ください
ご住所		
お電話番号 (日中連絡の取れる番号)		

※ワークショップへの参加希望がある方については、お名前等を記入いただきますが、アンケートの回答とは分離して処理しますので、安心してご記入ください。

★ 参加しやすい曜日・時間帯がありましたら○をつけてください。

1. 平日の午後6時30分以降	2. 土日祝の午前
3. 土日祝の午後	4. 土日祝の午後6時以降

3.2 アンケート調査の実施

アンケート調査の実施方法は、下記の通りです。

対象者	中札内村の村民計 500 人を無作為に抽出。
方法／実施期間	郵送／2023 年 11 月 1 日～2023 年 11 月 17 日

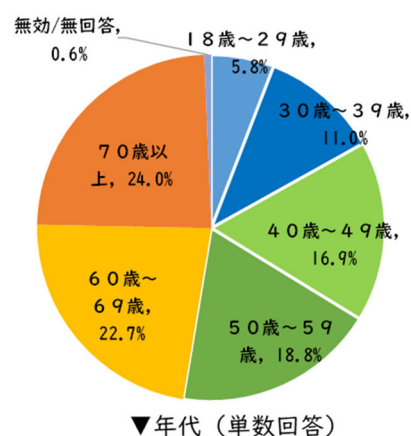
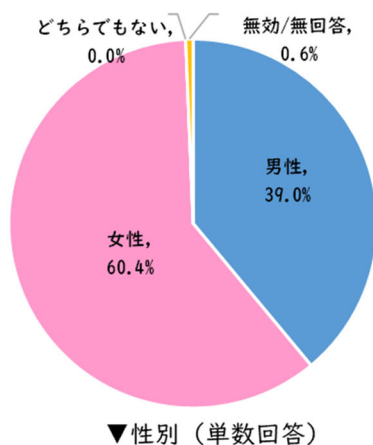
3.3 アンケート調査結果

無作為に抽出した村民 500 名にアンケートを送付した結果、154 通を回収し、回収率は 30.8%となりました。以下に結果の概要をまとめました。(調査結果の詳細は巻末資料参照)

3.3.1 回答者の属性

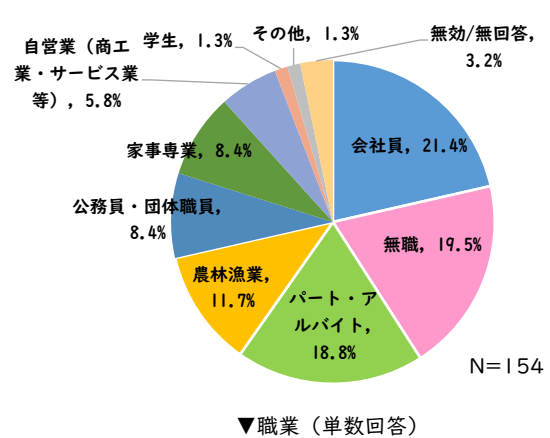
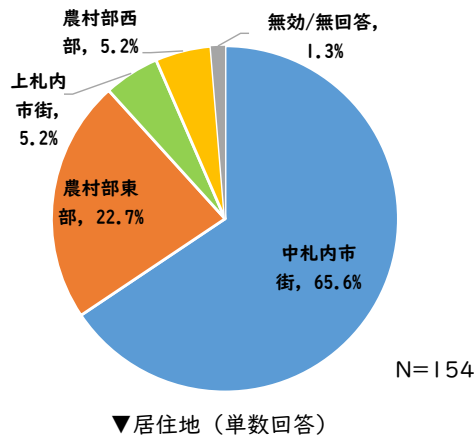
(1) 性別、年代

- 回答者のうち男性は約 4 割、女性は約 6 割でした。
- 年代が上がるほど回答者数が増えているが、40 歳より若い回答者も見られました。
- 性別や年代の属性に偏りはないと判断されます。



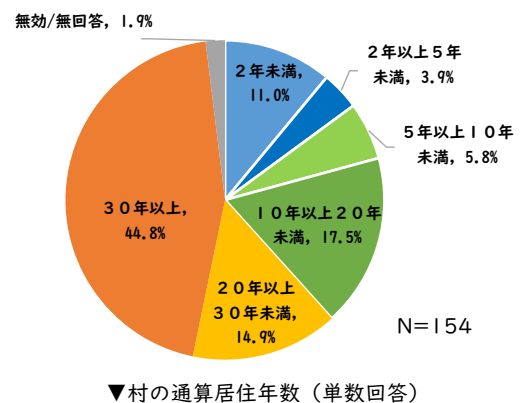
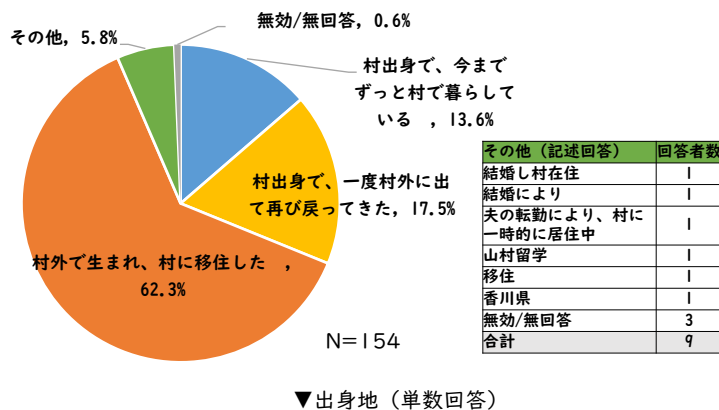
(2) 居住地、職業

- 市街地に住んでいる割合が最も多いが、農村部などの地域からも回答を得られました。
- 会社員の回答者が最も多く、21.4%でした。



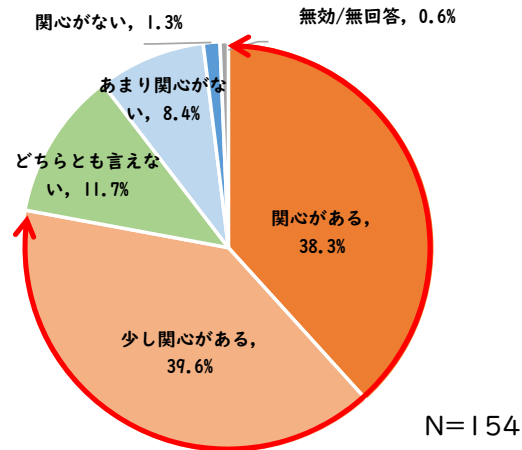
(3) 回答者の属性(出身地、村の通算居住年数)

- 村外出身の回答者が最も多く、6割程度です。
- また、村から一度出てUターンした回答者も2割近く見られました。
- 8割ほどの回答者が村外での居住経験者でした。
- 通算居住年数が長い回答者の方が多い傾向にあり、30年以上住んでいる回答者が4割強でした。



3.3.2 景観への関心

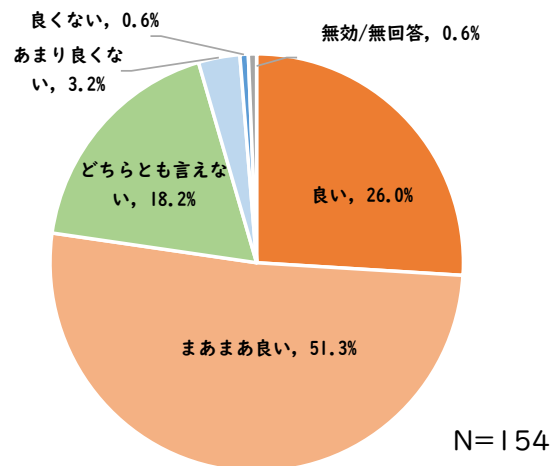
- 全体の 8 割弱が、景観に「関心がある」または「少し関心がある」と回答しました。
- 「関心がない」または「あまり関心がない」と回答したのは、1 割程度でした。
- ほとんどの村民は景観に関心があると言えます。



▼景観への関心（単数回答）

3.3.3 景観に対する評価

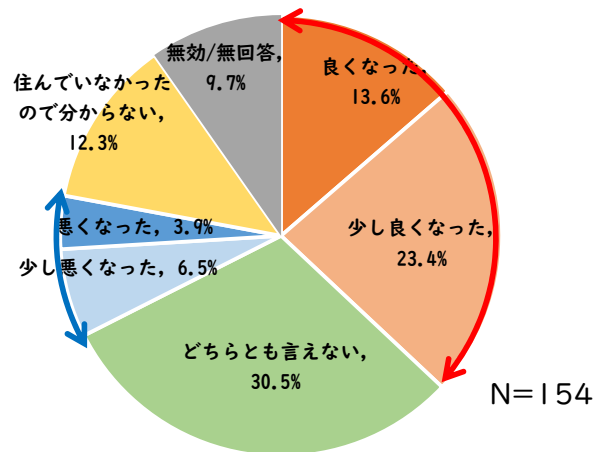
- 現在の中札内村の景観を約 8 割が「良い」または「まあまあ良い」という回答が 8 割弱を占めました。



▼村の景観の印象（単数回答）

3.3.4 景観の変化

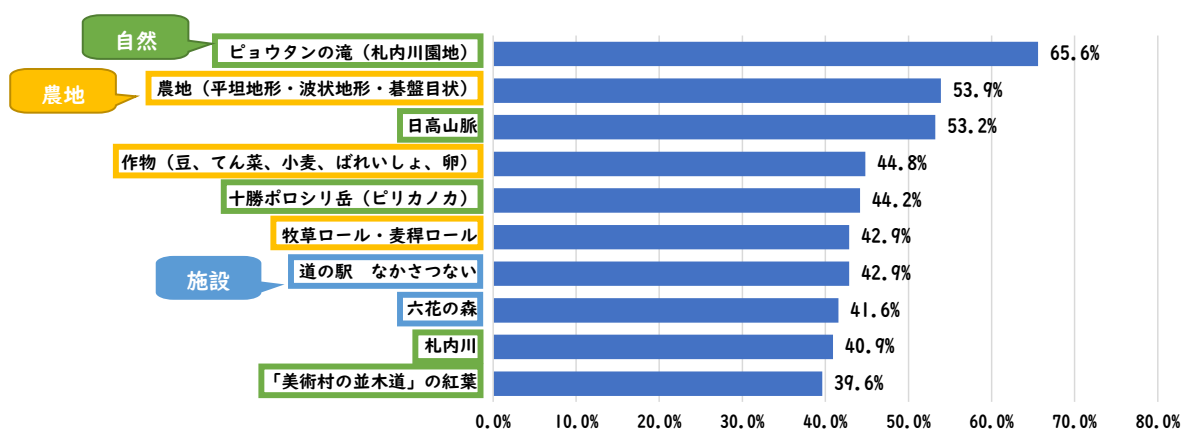
- 全体の8割弱が、村の景観を「良い」または「まあまあ良い」と回答しました。
- 「良くない」または「あまり良くない」と回答したのは、全体の3.8%でした。



▼10年間の村の景観の変化（単数回答）

3.3.5 景観資源

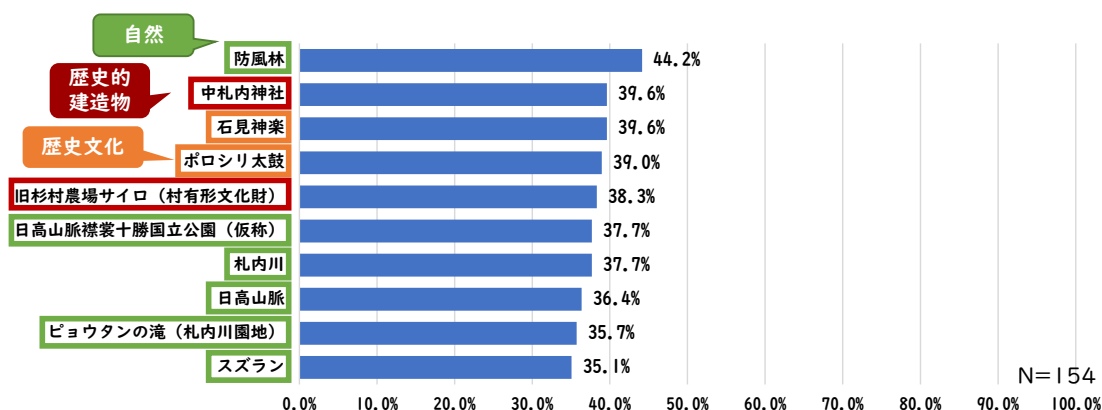
- 村らしい景観として、「ピョウタンの滝（札内川園地）」を選ぶ回答者が65.6%と最も多く、次点で「農地（平坦地系・波状地形・基盤目状）」が53.9%でした。
- 資源のカテゴリーでは、「ピョウタンの滝（札内川園地）」「日高山脈」といった自然と、「農地（平坦地系・波状地形・基盤目状）」「作物（豆、てん菜、小麦、ばれいしょ、卵）」といった農地に関する資源を村らしい景観だと考える人が多いと言えます。



▼中札内らしい景観 31項目の上位10項目（複数回答）

3.3.6 保全したい景観

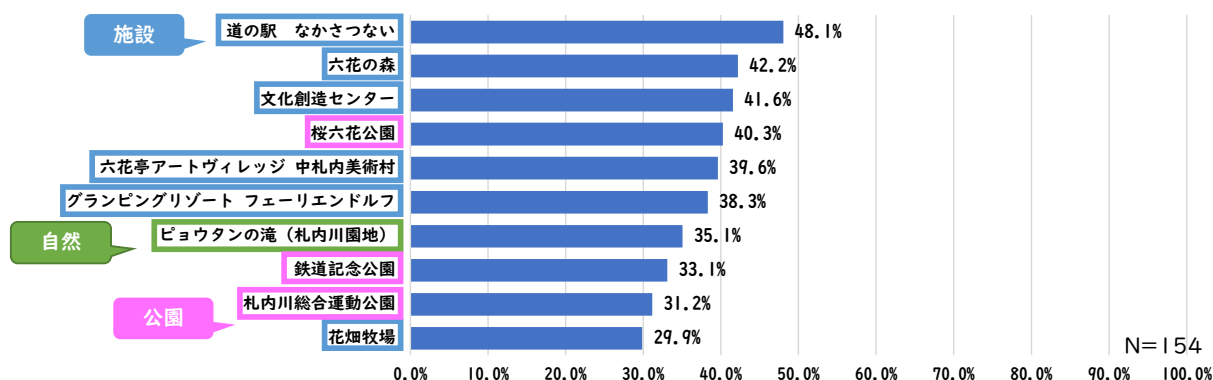
- 保全したい資源として、「防風林」を選ぶ回答者が 44.2%と最も多く、次点で「中札内神社」が 39.6%でした。
- 資源のカテゴリーでは、「防風林」「日高山脈襟裳十勝国立公園（仮称）」といった自然に加え、「中札内神社」などの歴史的建造物や「石上神楽」などの歴史文化などの資源を、保全したいと考える人が多いと言えます。



▼保全したい景観 31項目の上位10項目（複数回答）

3.3.7 活用したい景観

- 活用したい資源として、「道の駅 なかさつない」を選ぶ回答者が 48.1%と最も多く、次点で「六花の森」が 42.2%でした。
- 資源のカテゴリーでは、「道の駅 なかさつない」「六花の森」といった施設や、「桜六花公園」「鉄道記念公園」などの公園を活用したいと考える人が多いと言えます。



▼活用したい景観 31項目の上位10項目（複数回答）

3.3.8 景観資源のへの想い

- 景観資源として、「ピョウタンの滝（札内川園地）」を選んだ人が 81.8%と最も多く、次点で「道の駅 なかさつない」が 79.2%でした。
- 上記に加え、景観資源として7割以上の人を選んだものは、「日高山脈」「六花の森」「桜六花公園」「六花亭アートヴィレッジ 中札内美術村」「農地（平坦地系・波状地形・基盤目状）」でした。
- 保全したい景観では、「防風林」が 44.2%と最も多く、次点は「ピョウタンの滝」で 35.7%でした。「防風林」は活用したい景観としては 10.4%と低い結果となっています。
- 「ピョウタンの滝（札内川園地）」「桜六花公園」「六花の森」については、「保全したい景観」「活用したい景観」の両方で3割以上の人から選ばれていました。C.活用したい景観としては、「道の駅 なかさつない」「六花の森」といった施設や、「桜六花公園」「鉄道記念公園」といった公園などの資源が多く選ばれていました。

表 3-3 村の景観資源（複数回答） N=154

景観資源		A, B, Cのいずれかを選んだ	A 中札内らしい景観	B 保全したい景観	C 活用したい景観
自然	日高山脈襟裳十勝国立公園（仮称）	64.3%	26.6%	37.7%	16.2%
	日高山脈	77.9%	53.2%	36.4%	16.2%
	十勝ポロシリ岳（ピリカノカ）	64.9%	44.2%	31.8%	11.0%
	丘陵（新札内）	53.9%	33.1%	24.7%	9.7%
	札内川	69.5%	40.9%	37.7%	11.7%
	ピョウタンの滝（札内川園地）	81.8%	65.6%	35.7%	35.1%
	札内川河畔林	51.3%	19.5%	31.8%	9.1%
	カシワ林・カシワ	57.8%	30.5%	31.8%	9.7%
	防風林	66.9%	31.2%	44.2%	10.4%
	スズラン	57.8%	26.6%	35.1%	9.1%
	極寒の札内川の川霧	53.2%	31.8%	22.1%	10.4%
	「美術村の並木道」の紅葉	64.3%	39.6%	27.3%	21.4%
農地	農地（平坦地形・波状地形・基盤目状）	71.4%	53.9%	26.6%	12.3%
	牧草地（大規模草地育成牧場）	59.1%	37.0%	22.1%	11.0%
	作物（豆、てん菜、小麦、ばれいしょ、卵）	62.3%	44.8%	21.4%	16.2%
	牧草ロール・麦稈ロール	63.6%	42.9%	22.1%	16.2%
公園	鉄道記念公園	63.6%	26.0%	19.5%	33.1%
	札内川総合運動公園	59.7%	18.2%	22.1%	31.2%
	桜六花公園	75.3%	36.4%	35.1%	40.3%
	中央公園	56.5%	17.5%	21.4%	28.6%
歴史的建造物	旧杉村農場サイロ（村有形文化財）	57.1%	20.8%	38.3%	11.7%
	中札内神社	59.1%	20.1%	39.6%	14.3%
施設	文化創造センター	65.6%	32.5%	16.9%	41.6%
	道の駅 なかさつない	79.2%	42.9%	20.8%	48.1%
	六花亭アートヴィレッジ 中札内美術村	73.4%	38.3%	27.9%	39.6%
	六花の森	77.3%	41.6%	31.2%	42.2%
	花畑牧場	48.7%	15.6%	12.3%	29.9%
	グランピングリゾート フェーリエンドルフ	60.4%	26.0%	14.9%	38.3%
歴史文化	石見神楽	58.4%	20.1%	39.6%	14.3%
	ポロシリ太鼓	64.3%	26.0%	39.0%	15.6%
	村民盆踊り、上札内 de 花火	59.1%	24.7%	33.8%	20.1%

※赤枠:A,B,Cそれぞれにおいて、回答の多かった上位10項目

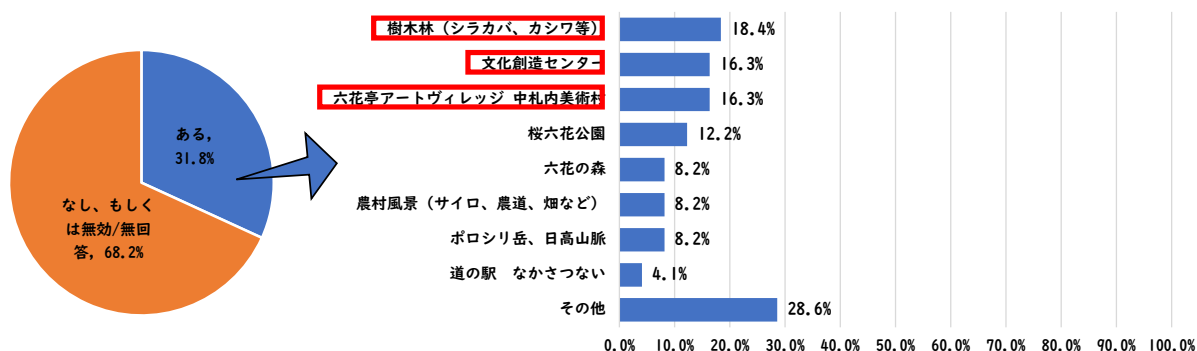
(その他 自由記述)

景観資源	中札内らしい 景観	保全したい 景観	活用したい 景観	無効/ 無回答
防風林について	○	○	○	
農家さんの御事情もあるかと思いますが防風林の景観が消えていくのでさみしい限りです				○
カシワの木保全したいなら落葉などきちんと片付けて欲しい。それぞれが有料ゴミ袋に入れて捨てなければならないのは納得出来ない。				○
一本山	○	○	○	
一本山	○	○	○	
恵津美川(周辺の自然、地藏堂、ミル公碑等含む)	○	○		
三番川(周辺の自然、特に春の野花も含む)	○	○		
自然の森				○
上札内より見た時、日高の山を西方向より雲が滝のように流れ込んで来る様子。追記)上札内市街に入る手前に良く出るダブルレインボー			○	
帯広に行く道筋(元大正あたり)から見た日高の朝日に照らされた時や夕日の時			○	
道の駅から上札内方向に行く時の山並(朝日の時や夕日の時)展望が広がりがリインパクトがある			○	
市街でもどこでも春にニリンソウやエゾエンゴサク等の野の花が咲いている	○			
中札内の信号から上札内桜六花公園までの直線の道	○	○	○	
村一ヶ所の花火				○
バスタッチ	○	○		
休暇村	○		○	
上記のような質問はあまり意味がないと思う				○

3.3.9 村の景観について

(1) 村の心に残る、シンボルとなるような建物や樹木

- 心に残る、シンボルとなるような建物や樹木については、31.8%（49人）の回答がありました。
- 回答があった49人の中で、「樹木林（シラカバ、カシワ等）」が最も多く、18.4%の人が回答しており、次点で「文化創造センター」と「六花亭アートヴィレッジ 中札内美術村」が16.3%でした。



▼回答割合 N=154

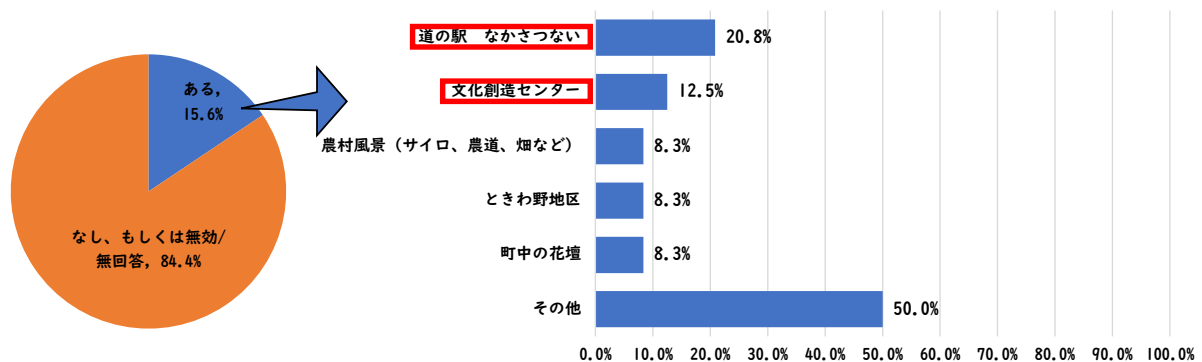
▼心に残る、シンボルとなるような建物や樹木（記述回答） N=49

(その他 自由記述)

心に残る、シンボルとなるような建物や樹木	建物、樹木を選んだ理由
防風林、保安林	無効/無回答
シラカバ並木	絵になる景観だから
カシワ防風林	日高山脈とマッチする
河川敷の道路の両側の林。もう一つ、戸島別川の橋の林と坂	両側の林は見ごたえがある。(左記の両方とも)
かしわ、白樺、ポロシリ岳	好きな風景
カシワ林、白樺並木	緑色の時も紅葉してもきれいだから。夏の緑と青空のコントラストきれい
シラカバ	シラカバの木から樹液(水)を抽出している人を見たので
防風林、秋のカラマツ、カシワ林、スズラン	十勝らしい。再び幸福がくるという言い伝えを活用してみても。(スズラン)
美術村や防風林のかしわ林	好きな風景です。特に紅葉する頃、いろんな色(グラデーション)が見られるのが美しい。
文化センター	イベントで活用されてみんなの思い出になる場所だから。
文化創造センター	風景
創造センター 桜六花公園 桜並木	センターの外観は素敵。桜並木は見事な景色です。
文化創造センター	中に入ったら色んな景気の写真があるから
文化創造センター、桜、上札内	年数がたてば良くなる
文化ホール、桜六花公園	とても綺麗な景色
文創の広場?	芝生がきれいで手入れされているから
文創	文創前の広場の景観が良い。図書館からながめるのが良い
美術村の並木通の紅葉	美しく、毎年楽しみにしています。
六花亭アートヴィレッジ中札内美術村、全体の景観	カシワ林、枕木の道、石畳、庭、全体のバランス、景観が心地良い風景となじむ建物
中札内美術村の北の大地美術館の窓	窓の外の景色が絵画のようで気に入っている
美術村	どんぐり林があり、きれいな庭と美味しい食べ物がある
六花の森美術館	全体的に雰囲気が良い
六花亭美術館、六花の森、中札内村6区公園。	自然を大切に日頃の整備
六花亭アートヴィレッジ	建物やその周りの雰囲気がすてき
美術村	手入れされている環境の中、自然がいっぱいで素晴らしい
桜六花公園	美しいから
桜六花公園	毎年見に行く
桜六花公園	桜の花がとてもキレイなので
桜六花公園	花の村だから
桜六花公園	桜がとても美しい
六花の森	さくら一望
六花の森	園芸種ではなく山野草が多く村のイメージに合っていると思います
六花の森にある建物、廃屋になっている丸屋根の牛舎	無効/無回答
旧杉村農場サイロ	村有形文化財として、広くPRが必要
農道	季節の移り変わりに畑の花の色を見るのが好きなので
六花の森に行く所にあるサイロ	観光で訪れた時から印象に残っているから
村道から見える十勝ポロシリ岳と農村風景(畑)	建物や電線がなく風景だけが目に入るスポット
日高山脈	無効/無回答
日高山脈、ポロシリ岳	天気の良い日の景観に感動する
道の駅	村に住む前に中札内を通ったときに道の駅を通ってやっと中札内についたと分かったから
道の駅フェーリエンドルフ	四季を感じられる
ピョウタンの滝	迫力がある
枝豆工場の壁面の絵	一目見ると注意してみたい
道の駅近くのそば屋の建物 ミズナラの木	そばを食べに行くと大昔の開拓を思い浮かべる。ミズナラの木は今は枯れているのかわからないが、もう少し手入れしたら良いのでは。
上札内パークゴルフ中にありますイチヨウは秋にはとてもきれい	無効/無回答
国道沿いのお花	夏～秋まで道の花はステキです
上札内の同朋寺の桜の木とイチイ(オンコ)の木	桜の満開時に見に行き素晴らしかったため。すぐとなりのイチイも見事で驚いたので
野うさぎキッチンのあるサクラの木	形もバランスも大きさも見栄えもとにかく良い
シンボルツリーというよりもっとまちなかの緑を大切にしてください	街路樹も少ない

(2) 村の心に残る、シンボルとなるようなまち並み

- 心に残る、シンボルとなるようなまち並みについては、15.6%（24 人）の回答がありました。
- 回答があった 24 人の中で、「道の駅 なかさつない」が最も多く、20.8%の人が回答しており、次点で「文化創造センター」が 12.5%でした。



▼回答割合 N=154

▼心に残る、シンボルとなるような建物や樹木（記述回答） N=24

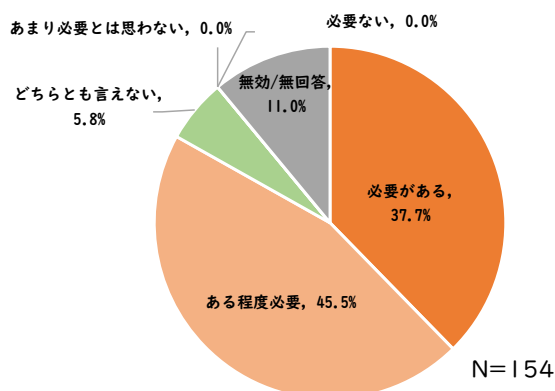
(その他 自由記述)

心に残る、シンボルとなるような美しい街並み	美しい街並みを選んだ理由
道の駅のイルミネーション	感動したから
道の駅なかさつない	小中学校、保育所、文化創造センター、マックスバリュ等が近隣にいろいろな行事に使用できそうなので。
道の駅なかさつない	地産の物が多くあり、建物もきれいで緑があります
道の駅	無効/無回答
中札内市街大通の歩道にある花壇等(道の駅含む)	街中に入ったとたん、道路脇が華やかな花で飾られていてすばらしい
文化創造センターと横の並木道路	文創は解放感があり、外の景色と融合している
文化創造センターの周辺、永井工業さんと道の駅のための林	自然との調和を感じます。(一部人工の部分もあると思いますが)
文化創造センター周辺	風景が紅葉の時期になるときれいだから
農道の直線、周囲に広がる四季おりおりの畑の風景(美しい!)	無効/無回答
日高山脈とパッチワークのような畑(サイロやトラクターも良いですね)	季節によって印象が変わり、日常生活から生まれる風景は素敵です
ときわ野地区	新しい住宅と日高山脈の景観が良い
ときわ野	新しい団地
国道沿いの花壇	きれい
えだ豆工場のかべの絵	中札内村の町に向かう時に見れてステキ。
日高山脈	中札内村の象徴
六花亭美術村	柏の林に建物が点在し季節の彩りが美しい
ちょっとしたわき道	落ち葉とか道路に落ちていて季節を感じられる
ビュウタンの滝	無効/無回答
フェリーエンドルフ内	秋は紅葉があり、エゾハスもシマリもネコも見えるので
色がバラバラではなく、統一されている。看板など目立ちすぎない所がよい	無効/無回答
鉄道記念公園	遊んでいる子供達が多くなり活気がある
市街地の夕方、涼む猫の姿(夏)	今の時代のんびりと寝転がっている光景に感動したので。(人にも動物にもやさしいところなのだと思います)
街の中・・・公園周り花プランター、ゴミステーション	ポイ捨てゴミ少ないです
季節ごとのお花やすずらんの看板七夕飾り	町、村の人の愛あふれるあたたかさが感じられる

3.3.10 景観を守る必要性

約 8 割が中札内村の景観を守る必要性について、「必要がある」または「ある程度必要」と感じており、約 8 割がルールを設けることに肯定的でした。

具体的なルールについては、「屋外広告物の大きさや色・形ついて」と「道路などの公共施設（空間）について」は「必要」または「ある程度必要」と回答した人が 5 割を超えていました。



▼景観を守る必要性について（単数回答）

(「必要がある」を選んだ理由(自由記述))

「1. 必要がある」を選んだ理由	回答者数
美しい村づくり	1
イベントなどで集まる様にして美しい花、サクラ、皆さんが楽しみながらくつろげる様な所、場所、いいですね。	1
子ども達の為には必要	1
美しい村であって欲しいので	1
新規移住の際のアピールになると考えられるので、住みたいと思わせることが出来ると、人口維持につながる。	1
人は住む環境によって心や気持ちの状態が変わります。子供達には落ち付いた街並みと自然の風景の素晴らしさを知っていて欲しい	1
中札内村で生まれ一度外へ出ましたが、戻ったときにやはり中札内の景観はすばらしいものがあると感じました。これを活用しない手はないと思います。	1
空き地が増えたから	1
日高山脈が見えるのは良いです。なるべく中札内には畑の中にソーラーパネルを置いてほしくないです	1
住み続ける為には健全な状態が持続する必要がある	1
自然景観は恵まれていると思うが、環境に対する整備が不足していると思います。道路周辺、建物周辺など地域や個人でもっとできることがあります。公園や公共用地など、用途がはっきりしていないため、整備がされていないし利用もされていない。	1
景観が良いと、住みたいと思うから。また、人にすすめたくなるから。	1
心がやすまる場所だから	1
都会から見た人に感動してもらえる	1
美しい村づくりに必要である	1
景観は地域住民の生活とその歴史の結果であり、文化の貧困な地域は経済的なだけの建物しかない	1
子供さんが成長された時、村を離れてから思い出として満足感が得られる事。	1
街中が淋しい、活性化をし、活性有る農業を表に出す、芋掘り、料理など	1
意識しなければ無くなるものだから意識する必要がある	1
日高山脈が国立公園へ指定されれば、訪れる人が増えるので今まで以上に守ることが必要になると思います。	1
中札内村ならではのものは観光目的にもなる。住んでいても美しい場所は自慢になる	1
自然、緑を大切にすることです	1
自然豊かな景色は守るべき	1
風景の良さがそこに住む人の心の豊かさに繋がって新たに人を呼び寄せることになると思います	1
すでに資源の中で生活している場所なので	1
村民、村にとっての財産(お金では買えないものだからこそ大切にしたい)	1
中札内らしい景色を維持していけたらいいなと思うから	1
四季を感じることができ、それを子供に伝えられる	1
無効/無回答	30
合計	58

(「ある程度必要がある」を選んだ理由(自由記述))

「2. ある程度必要がある」を選んだ理由	回答者数
観光客が来てくれてとても良いところ。住んでみたいと思ってもらいたいの。	1
移住者を増やし、さびれさせない為	1
美しい景観を守るため	1
村としての活気維持	1
美しく保つ必要もあるが、村民のためにもお金を使ってほしいから	1
国道に突然電波塔が道の駅付近に現れて驚いた(景観に合わないと思った)	1
街中に活気がない	1
国道から西へ39号スタンドより道路の西側に一部帯広市を入れて桜道を造ってみてはどうですか	1
景観がそこなわれるから	1
整えられ魅力ある地の方が気持ち良いと思います。	1
「日本で美しい村連合」に加入しているから	1
手を加えないと荒れていく	1
移住して来た方もこの景観が良いと思ってきたと思うので、あまり変えない方が良いと思います	1
居住者、移住者、観光客を確保する為	1
あまり近代化しすぎないでほしい	1
やはり、1人1人の心がけであると感じる	1
景観が良い理由で移住した人のことを知っているの	1
公園などは維持が必要なため(草刈り、倒木など)	1
美しい村なんだか〜に入ってるでしょうから	1
山がきれいといわれている	1
ずっとキレイであってほしいです	1
パークゴルフ場のような芝が村には多すぎて手入れが大変だと思います。お金も合わせて。パークゴルフ人口は減ってくるように思われますが・・・	1
この町に住んでいるのでとても必要だと思います	1
草すごいねと聞くと悲しい。(よその人に)	1
無効/無回答	46
合計	70

(「どちらとも言えない」を選んだ理由(自由記述))

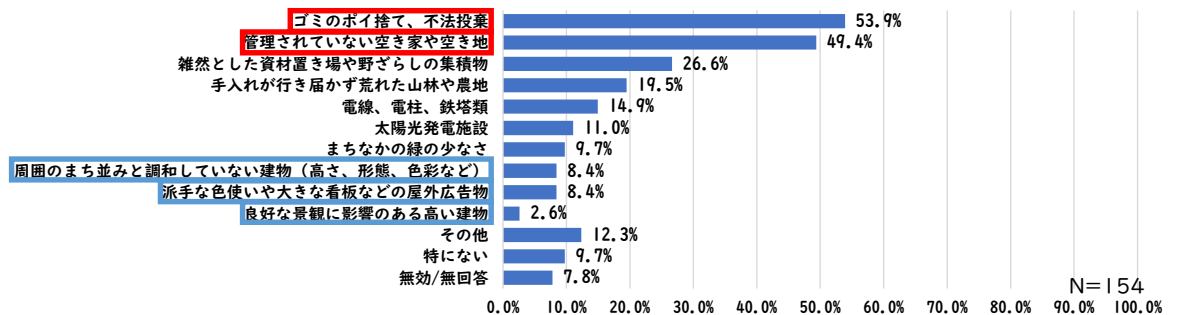
「3. どちらとも言えない」を選んだ理由	回答者数
時代の流れか、致し方無いと思います。	1
興味なし	1
改善できる場合と難しい場合があると思う	1
ボランティアで維持、手入れしていくことが大変そう	1
無効/無回答	5
合計	9

(「無効/無回答」だった理由(自由記述))

「無効/無回答」だった理由	回答者数
時代の流れか、致し方無いと思います。	1
無効/無回答	16
合計	17

3.3.11 村の景観の課題

- 「ゴミのポイ捨て、不法投棄」が課題として最も多く挙げられ、53.9%でした。
- 次点で、「管理されていない空き家や空き地」で49.4%でした。
- 建物の高さや色彩、屋外広告物などについて、好ましくないと回答している人は、それぞれ10%以下でした。
- 現在使用されている施設より、管理の行き届いていないものを課題に感じている人が多いと言えます。



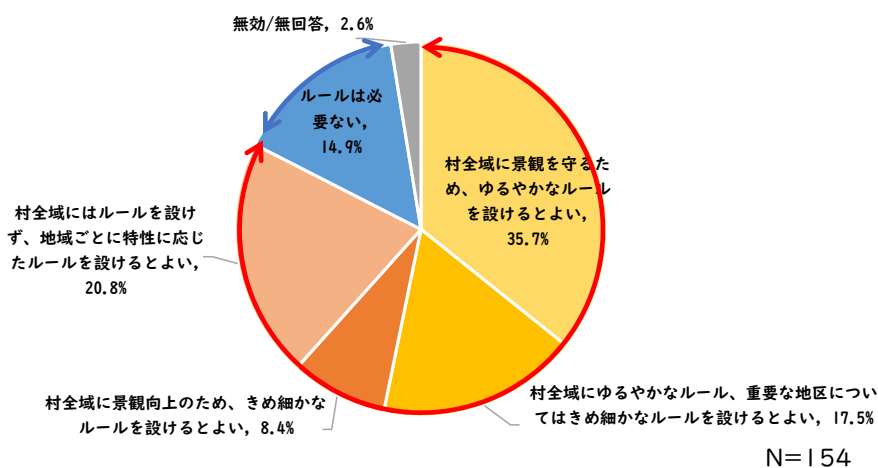
▼好ましくない景観（複数回答）

（「好ましくない景観」(自由記述)）

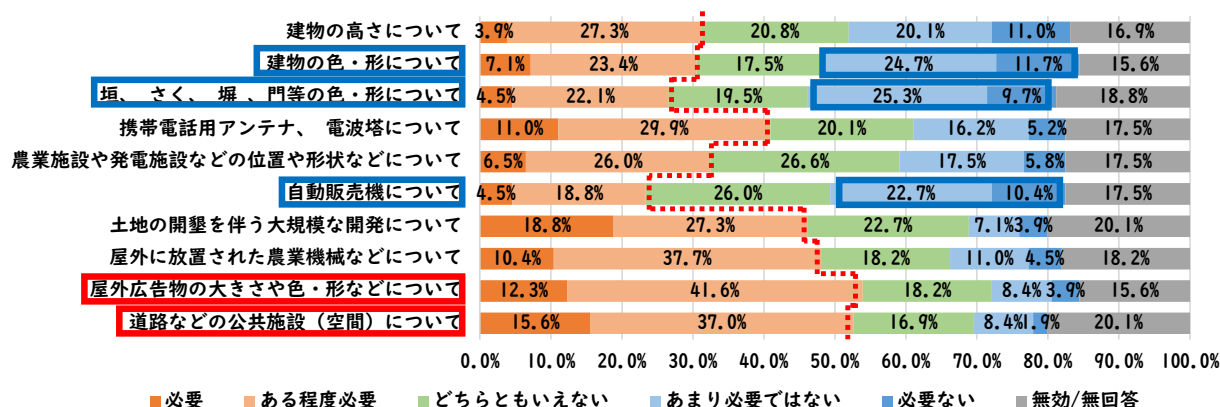
好ましくない景観（記述回答）	回答者数
道路・歩道わきの雑草及びイタドリなどの高い草。	1
手入れされていない公園	1
犬のフンの放置。	1
ゴミを燃やしてる人がいる為。やめさせる。セブンイレブン付近の悪臭。	1
住んでいる所の外周りの美化にうとい人がいる	1
まちなかの道路の枯れた木を補植すれば良いのでは	1
堆肥のニオイ	1
選挙などが終わってもいつまでも氏名看板などあるのはどんなものなんだろう	1
冬の除排雪ができていない	1
ほ道などの雑草	1
住んでいる人の笑顔が一番	1
悪臭で景観の良さが半減する	1
山並の美しさを（スイスみたいに美しく）	1
舗装化されていない道路の雑草（中央部分）舗装道路の補修をしてもらいたい	1
歩道の割れ目から生えた背の高い雑草	1
国道沿いの営業していない小店	1
農作業車が道路に撒き散らす泥何とかして下さい	1
あまり気にした事がない	1
商店街のけばけばしいイルミネーション。昼間も楽しめる統一感のあるものが好ましい	1
合計	19

3.3.12 ルール設定

- 方法は問わず、ルールを設けるとよいと回答した人は 82.4%で、「ルールは必要ない」と回答した人は 14.9%でした。
- 「村全域に景観向上のため、きめ細かなルールを設けるとよい」と回答した人は 8.4%でしたが、ゆるやかなものであり、地区の特性に応じたルールを決めることに肯定的な人は 7 割を超えていました。
- 地域ごとの資源や課題を整理し、柔軟にルールを設定することがよいと考えられます。
- 「建物の色・形について」と「垣、さく、塀、門等の色・形について」、「自動販売機について」は「あまり必要でない」または「必要ない」と回答した人のほうが、「必要」または「ある程度必要」と回答した人より多かったです。
- 「屋外広告物の大きさや色・形について」と「道路などの公共施設（空間）について」は「必要」または「ある程度必要」と回答した人が 5 割を超えていました。



▼ルールの設定方法に関する意見（単数回答）



▼景観づくりに必要だと思うルール（単数回答）

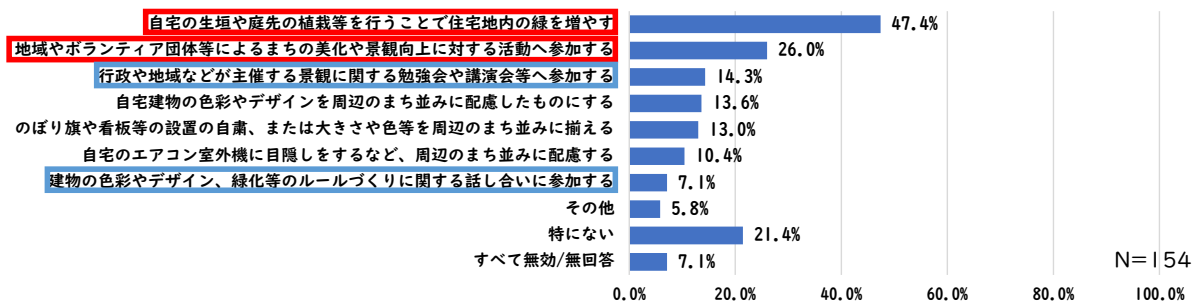
(景観づくりに必要だと思うルール(自由記述))

その他 (記述回答)
村として推奨カラーを決めて建造物に少しでも取り入れてもらう。数十年後には村の景観の特徴になるのでは
保安林の手入れやゴミのポイ捨てのルールづくり
携帯アンテナが多すぎる。規制が必要。
見た目より住みやすさ、又多様性が必要と思う
街路樹、花だん等
ピョウタン地区などに牧場と合わせてスポットを作り通る人見る人を引き付ける。夢(スイスの山脈の様に)
特別不快感を持たなければいいと思う
公的建物や周辺のみ綺麗感
ゴミのポイ捨てに対する罰則となりうる条例
何か建物に問題が起きた時みんなで相談する。あまり起きないように思う。

3.3.13 景観に関する取り組みについて

(1) 景観を守る活動への関わり方

- 「自宅の生垣や庭先の植栽等を行うことで住宅地内の緑を増やす」と回答した人が最も多く、47.4%であり、次点で「地域やボランティア団体等によるまちの美化や景観向上に対する活動へ参加する」が26.0%でした。
- 景観に関する勉強会や、ルール作りに関する話し合いといった、協議の場に参加してもよいと考えている回答者も、少なからずいることが確認できました。



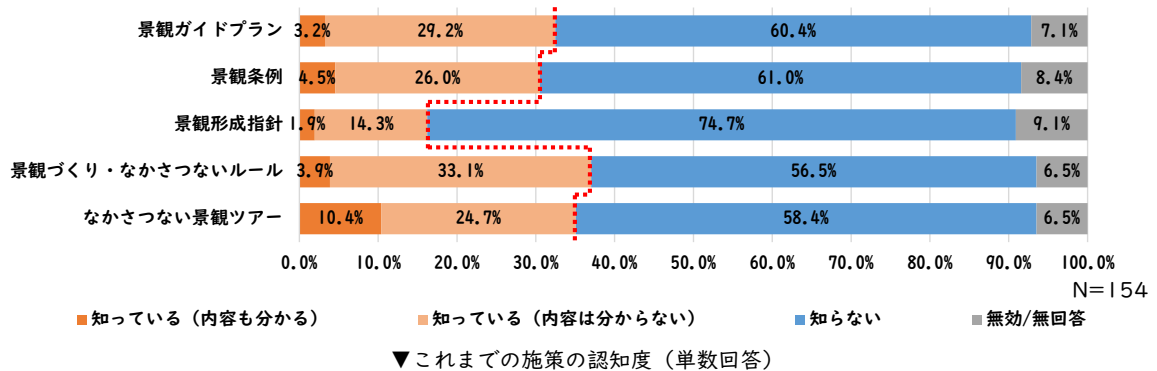
▼景観を守る活動への関わり方（複数回答）

（景観を守る活動への関わり方（自由記述））

その他（記述回答）
高齢化が進んでいるので空き家が気になる。
個人でのゴミ拾い
生活スタイルが変わらなければ景観もかわらないのではないかな？細かい制度は地域が美しく出来てから結果的に生まれるものだと思う。
自宅の雑草の駆除
街並みも人も公園も農村風景も美しく
最低限、自分のゴミは持ち帰ります
ゴミ拾い
道路沿いのゴミ拾いを行う
参加したのですが・・身体的都合上

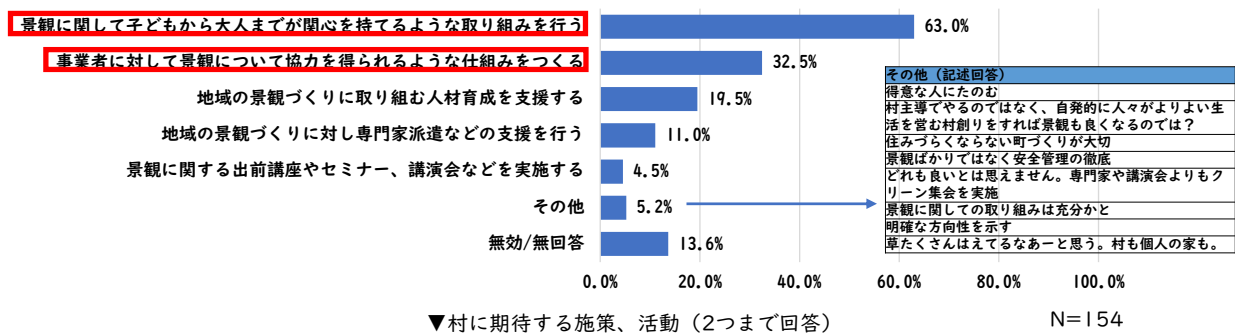
(2) これまでの施策の認知度

- 「知っている（内容も分かる）」または「知っている（内容は分からない）」と回答した人が最も多かったのは、「景観づくり・なかさつないルール」で、37.0%でした。
- 内容まで知っている取組としては、「なかさつない景観ツアー」が最も多かったが、10.4%にとどまりました。



(3) 村に期待する施策、活動

- 村に期待する施策、活動としては、「景観に関して子供から大人までが関心を持てるような取り組みを行う」が最も多く、63.0%でした。
- 次点で、「事業者に対して景観について協力を得られるような仕組みをつくる」が32.5%でした。
- 景観に関するイベントを切り口に、景観づくりに関する計画・ルール作りまで興味・関心を持つ人を増やすことが有効ではないでしょうか。
- また、事業者などとの協力体制・仕組みの構築も必要だと言えます。



(4) その他の意見・アイデア

- 自由記述回答を、右の表のように項目ごとに分類しました。
- 景観上好ましくないもの等に関する意見・アイデアでは、「②iv. 景観の課題」で意見のなかった太陽光パネルによる阻害への懸念や電柱を地中化すると良いといった意見が出ました。
- 村民の参加促進に関しては、「③iii. 村に期待する施策、活動」で回答の多く、景観に関心を持ってもらうためのイベントへのアイデアが寄せられました。
- 観光客等の誘致に関しては、商業施設の拡充や観光スポットの発掘を良いとする意見・アイデアが寄せられました。
- ルール作り等に関しては、村民の意見を十分に反映させることや、暮らしやすさを優先するべきといった意見が寄せられました。

(良好な景観の形成に向けた意見やアイデア(自由記述))

大項目		小項目	
項目名	回答者数	項目名	回答者数
村の景観が良い	5	市街地（街並み、花壇など）が良い	4
		日高山脈が良い	3
		農村風景（畑、トラクター、鳥など）が良い	3
景観上好ましくないもの等に関する意見・アイデア	27	ゴミのポイ捨て対策をするべき	8
		道路周りの雑草の管理をするべき	5
		道路の花だん、街路樹の整備をすると良い	5
		歩道の老朽化・段差が良くない	4
		古い空き家等を管理するべき	3
		匂いが気になる（工場、堆肥等）	3
		看板が景観を阻害している	2
		太陽光パネルによって景観が阻害されてほしくない	2
		電線の地中化をすると良い	2
		防風林を保全・育成するべき	2
		その他	7
村民の参加促進に向けた意見・アイデア	8	村民に村の景観を普及するべき/誇りに思ってもらいたい	2
		緑と遊びをテーマにした施設があるとよい	1
		アートに関するイベントやワークショップが良い	1
		各家庭での植栽を推進するのが良い	1
		景観・歴史探訪等のツアーがあるとよい	1
		ボランティア募集で地域全体の参加を促すのが良い	1
		村民の参加できる行事を増やすのが良い	1
観光客等の誘致に向けた意見・アイデア	6	商業施設を拡充するのが良い	3
		絶景スポットを発掘・公開するのが良い	1
		植樹して紅葉の名所を作るのが良い	1
		日高山脈のガイド拡充、登山ツアー等を実施するのが良い	1
		ピータンのマンホールなどが観光の話題になるのではないかな	1
		体感してもらう、見てもらうための工夫が必要	1
ルール作り等に向けた意見・アイデア	8	村民の意見を十分に反映させてほしい	4
		景観より暮らしやすさ等が優先される	3
		心のゆとり、豊かさも必要	2
		その他	3
その他	6	—	6

(良好な景観の形成に向けた意見やアイデア(自由記述) 集約前(1/2))

その他意見やアイデア
村道や農道のゴミのポイ捨てがとてもひどい。生活ゴミなどで特定の人間（通勤や、仕事で通る車）から捨てられてる様に考えられる。景観を良くするには、そういった事を無くす事が先だと思います。役場でポイ捨てのひどい道路を仕事等で通る企業などに指導してゴミ拾いをさせるなどして頂きたい。
ピョウタンの滝（札内川園地） 昔は自由に散策、散歩、釣りが出来たが、２年前から管理の仕方が間違っているので、出来なくなっている。キャンプ場の有料が間違っている。トイレがどこにあるか判らない。散策したいが、キャンピングトレーラーがあって出来ない。立ち入り禁止が多い。ほとんど観光客が来なくなっている。
・旧杉村農場サイロ ・農地の各地形 ・札内川河畔林など、村で暮らしていても、知らなかったワードが多い。まずは、知ってもらうこと、機会を増やしたら良いと思います。
古くなった空き家をこわすのは、むずかしい事は理解できるので、せめて国道沿いにある物だけでも、管理できると良いと思う。
村はゴミ拾いをイベントとして行っているが、ゴミを出さない捨てない啓発事業に力を入れてはどうか。美しい村とは、ゴミ拾いではないと思う。美しい景色を見て美しいと感じられる心・感性の醸成、ゆとり（生活のゆとり、心のゆとり）が必要。このアンケートを貴社に委託するお金がどれほどかわかりませんが、職員が住民に声をかけ聞き取りをする姿勢が必要では？計画が机上の空文とならないための行動を期待します。
学校から日高山脈の自然が広がっている様子が見えるのですが、その手前に派手な看板のみが目立ちます。北海道の条例には沿っているらしいですがニセコの様に町で特別に景観条例を設けると良いと思います。景観が大事なことはきっと子供達にも伝わることでしょう。日高山脈に大地と畑。落ち着いた街並みは心を穏やかにします。スマホ時代だからこそ、五感に直に入ってくる情報が何より大切です。中札内村に住んで良かったと自然に感じて頂きたいです。
緑とあそびをテーマにした施設や場所があるといい。文化創造センター前の草原をうまく活用してほしい。
中札内村の畑の中で山を背景に働くトラクターを見るのも好きです。つるや白鳥も美しいです。中札内村は、太陽光パネルの景観はしてほしくないです。この中札内の美しい景観を見ていたくて移住したので変わって欲しくないのです。
道路周りの雑草、ゴミ。自宅周りの清掃。ゴミステーションの管理。地域住民への啓蒙活動実践を。
景観とはズレますがにおいが気になります
農村地区の道路のゴミのポイ捨てが目立ちます。道路脇の草刈りをして欲しいです。
良好な景観の形成とは直接関係ありませんが、以前から、中札内村にだけあるものって何かあるのだろうか？と思っていました。子どもが好きという理由で恐縮ですが、ピータンのカラーマンホールや、ポケふたなどがあるといいね、とよく話しています。村全体のイメージとしてはとてもキレイな街並みだと思います。以上
中札内とても気に入ってます。景観について色々大変でしょうが、とてもいい村だと思っています。（上札内在中）
景観も大事だが、公共施設に芝生が多いと除草や草刈りに人手がかかる。就労センターに草刈りを依頼しても混み合っていてすぐに対応できないのは、業務内容を圧迫させていないのか考えて欲しい。困っているという声も聞く。役場とその周辺に駐車場が少ない。選挙の時に郵便局に停めて歩くのは年寄りには厳しい。災害があった時に役場に詰め寄り、駐車場が足りなくなるのが分かっているのに芝生にしているにはどうなのか。郵便局の駐車場も冬場は雪で足りていないし役場の敷地を平らなアスファルトにして排雪場所を増やしてみても良いのでは。他の市町村の役場は駐車場がたくさんあり、広いので参考にして欲しい。冬場の雪山の高さ、除排雪の遅さには困る。役場の近くは子どもたちも通るし、事故が起きてからでは遅いのでは。車の運転も見づらく、不安である。まずは村民の利便性を優先して欲しい。
今、現在の景観を大事に維持しては？お金をかけて新しい物を作る事はないと思います。景観重視で不便になるのもイヤです。村民が気持ちよく、そして便利ではなく不便なく生活出来る事が一番だと思っています。
設問の言い回し難しくて答えるのに苦労します。村民の参加出来る行事を増やす事は無理ですか？村外から来てお金を落としてもらえる施設が必要。道の駅だけでは飽きが来ているのでは？
役場専用のポスト設置
一口に景観といっても、どのようなものを村が望むのかで答えは違うでしょう。個人的に気になっているのは、携帯電話のアンテナが全道で至る処に増えている点です。人のほとんど住んでいない地域でも立て過ぎる大きなアンテナが建っており、電波障害が不安になります。電話会社のアンテナを建てる規制が求められます。地主と会社との間に介入できるようにするのと地域の住民の意見をそこに反映できるようにしてほしいです。また、ソーラーパネルも同様です。何時も気になるのは(これはどの自治体もいえますが)本当に住人の意向を考えておらず、ただ既存の筋組みの上にあぐらをかいているだけのように感じます。ですから決まりを作ることよりも、まず、地域住民の意向を鑑み、彼等の意見を広く取り入れた上での対応をして頂きたく思います。海外を広く旅行しましたが、日本の問題は地域住民の意向と行政の意向の乖離による風景(文化の)空洞化です。地域は行政ではなく住民が創っていくという意識が必要です。
高規格道路の出入り口前の道(38号線)沿いのポイ捨てがひどいので、ポイ捨てがなくなるような工夫が必要。38号線だけでなく国道沿いなど交通量の多い道はポイ捨てが多い。景観よりも堆肥やでんぷん工場の匂いのほうが気になる。あの匂いの中、飲食店でご飯を食べる気にならない。観光客にも影響があるのでは？美術村の景観が好きなのですが、土日祝しか開館していないので、開館日時を増やして欲しい。以前はもっとアートに力を入れていた。お金をかけなくてもアートのイベントやワークショップの開催を通してアートをもっと身近なものにして、芸術の村で売っているのであればもう少し取り入れても良いと思う。良好な景観をつくるために心の豊かさも必要。
空き家になっている古い建物は危険なのでどうにかするべきだと思います。(大変だと思いますが)メインストリートの花だんのお花、もう少し華やかな方が良いのではと思います。
春に花の苗等を少し安い価格で販売して、各家庭で花を植えてもらうきっかけ作りを行う。歩道や道路の路肩のひびに生えた雑草が伸びてひどい所がある。種をつけないうちに除去できたらと思うが・・・

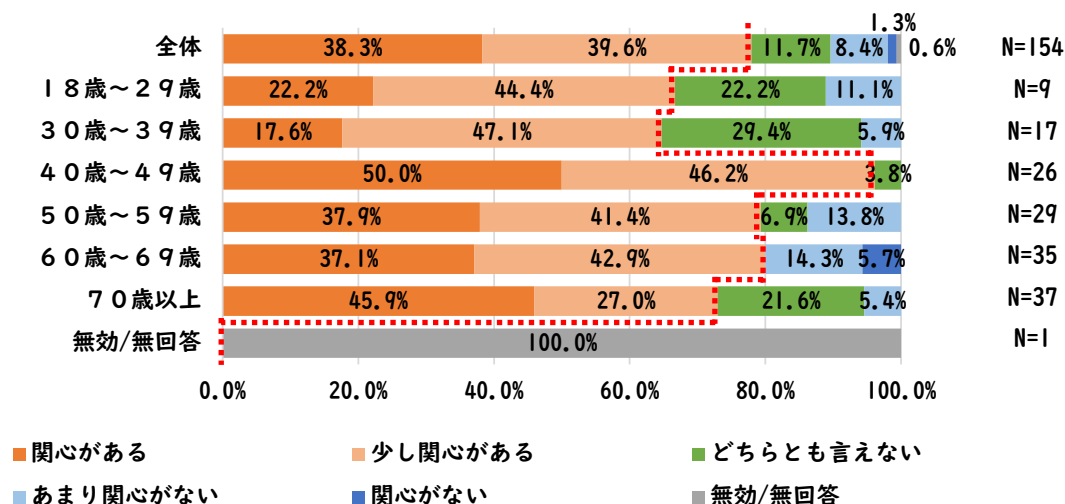
(良好な景観の形成に向けた意見やアイデア(自由記述) 集約前(2/2))

その他意見やアイデア
畑や花壇、芝生、などとてもきれいに手入れされていて、絵はがきのような風景が身近な所に沢山ある村だと思います。(山脈や畑もとてもきれいです)ただ、残念なのは、連休など観光で訪れる人が多い時期に堆肥のにおいが強いことが多々あり、村外に住む祖父は「中札内は景色はきれいだけどやっぱり臭い」と毎年言っています。堆肥は畑には欠かせないものですが、悪臭を少しでも減らせるともっとイメージが良くなると思います。
景観(よその町の人からの目、見た目)より、実際住んでいる人が住みやすく、又いろいろな個性をもっている人がだれでも住みやすい町づくりが大切と思う。多様性といわれているので、いろいろごちゃごちゃしていてもいんでないかい。住んでいる人の笑顔であふれているのが一番の景観だと思います。
街路樹や植栽をもっと中札内らしい植物にしてもらいたい。えだ豆工場の壁画は残念。
以前、街並活性化委員やりました。浦河町はじめ、各地の美観地区見ました。それだけで中札内村街並みに活用されませんでした。美しい街作りは村民全体で取り組んで下さい。(スイスのようになったらステキ)行きました。農具地下に。牧場、牛舎美しく明るい色に。最近も見ました。益々グレードアップ。
意見、アイデアではありませんが、景観ツアー(歴史探訪的な)があれば参加したいです。(他の町でそのような会に参加した時色々知ることにより意識と知識が深まり面白いと感じたため)ただ、学芸員の立場の人(詳しい人)がいないと難しいですね。
NPO ひがし大雪自然ガイドセンターのような団体が山岳センター(又は市街地内)に居て欲しい。日高山脈はレベルの高い山なので、あえて頂上を目指さない登山ツアーなどを行って幅広い人々に日高山脈の素晴らしさを体感して欲しい。携帯トイレブースや、観光客専用のゴミ回収スポットなどを設置してゴミ放置を減らすような環境を整えてゆけるといいと思います。
役場の周りは花など綺麗に飾られているが診療所周りは雑草だらけで景観が悪い。体調不良で診療してもらう場所なので、せめて心が癒される様配慮して頂きたい。道路脇のイタドリ、なんとかしてほしい。舗装された道路のデコボコ何とかしてほしい。砂利道は春はグレイダーでならしてくれているが夏場の雑草(道路の中央部分)が大きくなり、草の種が落ち、また次の年も草だらけになり、とても景観が悪い。
村内の良好な景観を形成するならまずメインストリートを。電線(地中に)をなくして統一感を出したらいいのではないのでしょうか。道の駅の近辺で役場の方々がゴミ拾いをしているのを見かけますが、毎回同じ場所じゃなく農村地区の林等も行ってみてほしいです。不法投棄がすごい場所には看板を設置してほしい。色あせた道路標識や看板の塗直しも必要だと思います。このように無作為にアンケートをいろいろな事で実施しますが、うちにも何回か届いた上で言わせて頂きます。このアンケートに意味があるんですか?意見をしっかり吸い上げて早く行動に移して下さい。話し合いや、次のページのワークショップもそうですが、意見や提案をまとめ上げていく場で、そのまま終わらせないで行動、実践していった下さい。
1. 当地の景観は単に自然のみではなく、そこに人の営みが関わることにより形成されているものと思う。その典型が「防風林」であり、その保全を望む。2. 広く青い空も当地の売りであるので電柱の地中化を推進してほしい。3. 小さな公園?(余り手入れがされていない)が点在しているが、土地の売却、買収、交換等により集約し、面接を確保したうえで重点整備をしていくべきと考える。(利用度の調査をして現状をまず把握して選択集中すべきと思う)
市街地周辺等の人民が住んでいない危険家屋になる様な建物や老朽化している建物は補助金など助成金制度を設けて家屋解体を行える様にした方が良くと思います
私はこの村の美しい景観にひかれてここに移住しました。この村の美しさをよく知っているつもりです。それに対して元からの住民の方々はこれが当たり前なので特に美しいとも貴重だとも思わず、それこそ「当たり前、普通」「へー、きれいなのか?」「まあきれいと思う」この美しい中札内村を、村民全員が誇りに思えたらいいと思います。ではどうするかという設問ですね。・・・うーん、セミナーや講演会をしても興味を持たなければ出席しませんしね。問12の3、人材育成をするならこの村で生まれ育った方をお願いしたい。中札内村はこんなに美しくいい所なんだと誇りを持ってほしい。もう一点、花を植えたプランターを並べて景観に配慮した、と思うのは短絡に過ぎると思います。もちろん、お花も大切ですがそれだけではないと思います。
ボランティア募集等地域全体で動ける取組みがあるといい
村の中心部に来た人が車を停めて歩いて回れる場所が集まっていると良い。例えば、道の駅周辺の緑地などを活かしてカフェやパン屋、飲食店、雑貨屋等を誘致する(そのため、これらテナントを入れるための箱を行政が用意する?)秋の紅葉の美しさを更にアピールする。カラマツ防風林の育成支援。カエデ等を多く植栽したエリアを作る(紅葉の名所を作る)白樺、銀杏、カエデ等紅葉の美しい木の並木道を作る。農家と協力して一時期だけ農家だけが知っている「絶景スポット」として開放する。或いは知る人ぞ知る村内の絶景スポットを集めて公開
国道JAの建物から中札内道の駅までの間、緑の無さがとても残念です。紅葉樹を見る事ができないので道路際に植栽してあったら良いと思うのですが、葉が落ちるのが問題なのか?と感じています。中札内村の良好な景観とは「景観まちづくり」とは、どこからどこまでなのか今ひとつ理解しにくいです
生かせる景観は十分有るので日常生活や来村した方々に体感してもらったり、見てもらう工夫をトライ&トライで進められると良い。(例)現状の町中の歩道は凸凹で町の中を歩こうとは思わない。マイナスの印象を与えてしまうのでは。
<ゴミのポイ捨てに関して>住まいの周辺の村道では毎日ゴミが捨てられています。コンビニの袋に入った弁当のパック、空カン、ペットボトル、散乱したティッシュなど。これをボランティアの手で対処している現状を村は黙認したままでよいのでしょうか。その人がいなくなったらどうしますか?村の価値、住民の誇りを高めるためにも他者(恐らく村外の人)によるゴミを何とかしてほしいです。景観に関する大きな施策を実施する前にまずはここから手を打ってほしいです。
「世界一美しい村」として、村民参加一体となる美しい村づくりをされていてすてきな場所、景観が守られている。しかし、高齢化が進む中で、市街における歩道の老朽化により、時々つまずいてしまいそうな箇所もあり、バリアフリーが全て良い訳ではないが、危険に感じた。村のキャラクターがデザインされたマンホールや、歩道にあるプレートや図柄はかわいらしく、ご当地限定感もあり観光の話題にもなりそうです。素敵な所は守りつつ、よりよい整備がされることを願います。(特に帯広信金駐車場の歩道と道道大通りとの段差が高くドライバーの不安がある。)
国道や道道の歩道に生えている丈の長い草が気になります。景観上好ましくないのでは。国道38号、ローソンの南向いの花だんが残念です。街の中は美しい花で飾られているのに、謎の花だんという感じです。美しく変われたらいいですね。
・空き店舗をキッチンカー等の店舗の方々に貸し出しキッチンカーを出さない日はその店舗で営業する。・特別支援学校への無料での貸し出し。中札内高等養護学校があるので、授業や作業の一つとして空き店舗で販売の体験。PR活動にもつながる。・シャッター街にはなくなるのでは…。・街灯が暗いのを明るくする。治安的にも安心できる町になるのでは。今は暗すぎで、不審者も分かりにくい。子供、若い子の一人歩きも周りがみえることで今以上に安心感をもてるのでは…

3.3.14 クロス集計

(1) 年代ごとの景観への関心

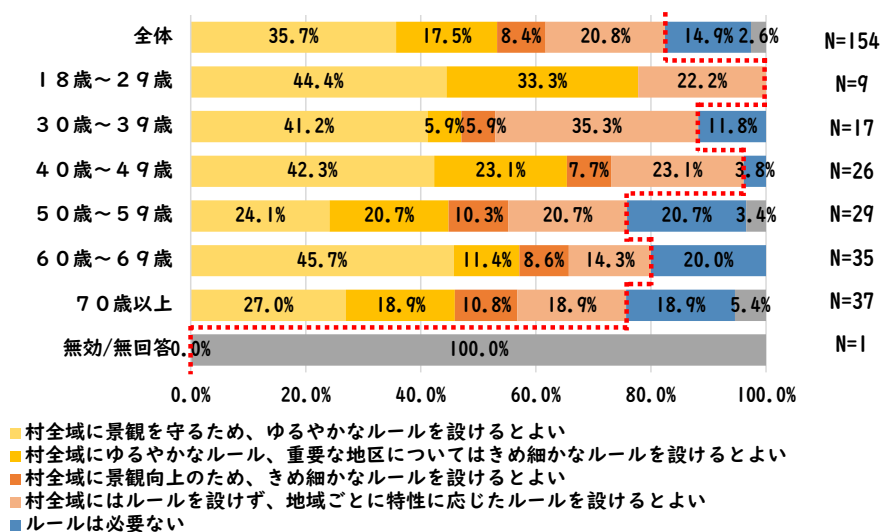
- 「40 歳～49 歳」は、26 人中 25 人が、景観に「関心がある」または「少し関心がある」と回答しました。
- 他の年代と比較して、「18 歳～29 歳」と「30 歳～39 歳」では、景観に「関心がある」または「少し関心がある」と回答した人が少ない傾向にありました。



▼ 「年代」と「景観への関心」のクロス集計

(2) 年代ごとのルールの設定方法

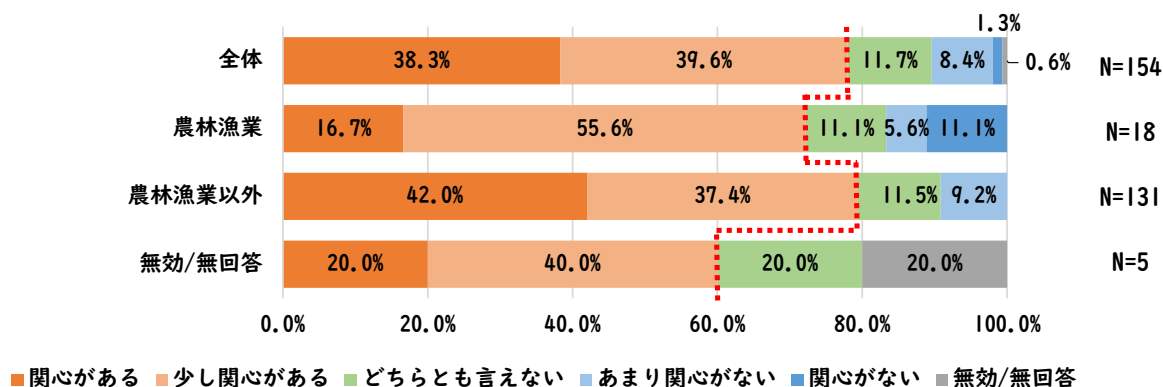
- 「18 歳～29 歳」は「ルールは必要はない」と回答した人は 1 人もいませんでした。
- また、「ルールは必要ない」と回答した人は、「30 歳～39 歳」では 11.8%、「40 歳～49 歳」では 3.8%であり、若いほどルールを決めることに肯定的な傾向にあると言えます。



▼ 「年代」と「ルールの設定方法」のクロス集計

(3) 職業(農林漁業)と景観への関心

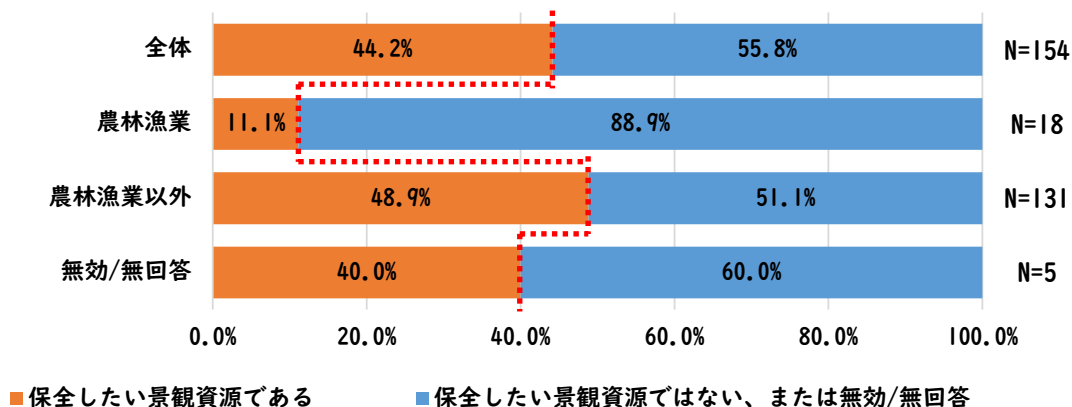
- 職業が農林漁業の回答者で、景観に「関心がある」と回答したのは16.7%（18人中3人）にとどまりました。
- しかし、景観に「少し関心がある」と答えた回答者と合わせると72.3%にのぼり、全体の傾向に大きな違いはないと考えられます。



▼「職業（農林漁業）」と「景観への関心」のクロス集計

(4) 職業(農林漁業)と村の景観資源(防風林を保全したいか)

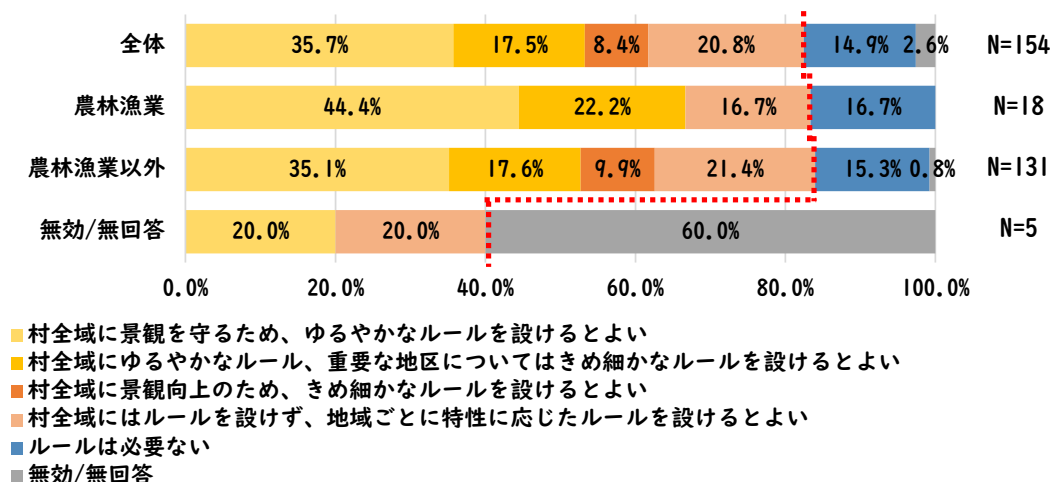
- 農林漁業以外の回答者で、防風林を「保全したい景観」として選んだのは、48.9%だったのに対し、農林漁業の回答者で選んだのは11.1%（18人中2人）でした。



▼「職業（農林漁業）」と「村の景観資源（防風林を保全したいか）」のクロス集計

(5) 職業(農林漁業)とルールの設定方法

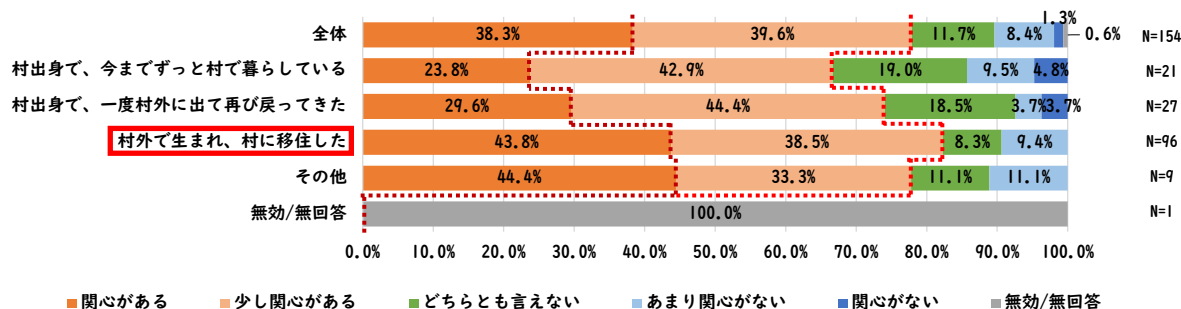
- 農林漁業の回答者で、「ルールは必要ない」と答えたのは16.7%でした。
- 農林漁業の回答者の中では、「村全域に景観向上のため、きめ細やかなルールを設けると良い」と回答した人はいませんでした。
- 農林漁業の回答者と、それ以外の回答者との回答傾向に大きな違いはないと考えられます。



▼「職業(農林漁業)」と「ルールの設定方法」のクロス集計

(6) 出身地ごとの景観への関心

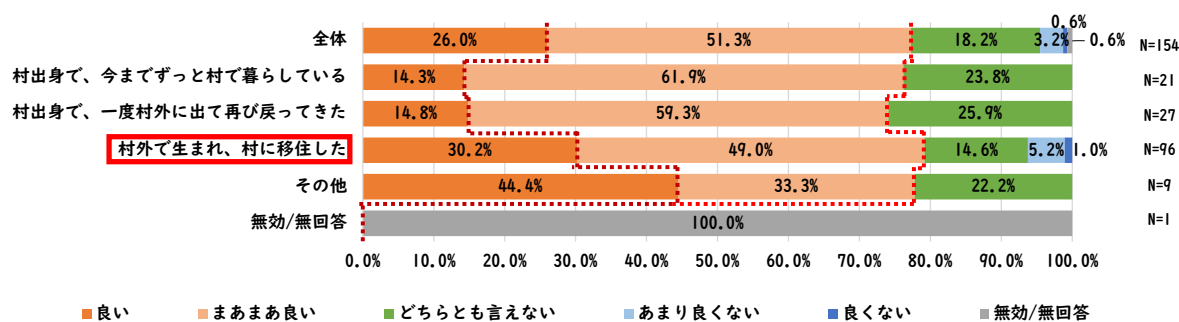
- 村外での居住経験がある回答者の方が、景観に「関心がある」または「少し関心がある」人が多い傾向にありました。
- 特に、「村外で生まれ、村に移住した」回答者は、43.8%が景観に「関心がある」、33.3%が「少し関心がある」と回答しました。



▼「出身地」と「景観への関心」のクロス集計

(7) 出身地ごとの村の景観の印象

- 村外での居住経験の有無によって、村の景観を「良い」または「まあまあ良い」と答えた人を合わせた割合は、ほとんど変わりませんでした。
- しかし、村外出身者では、村の景観を「良い」と答えた人が 30.2%おり、村出身者と比較して「良い」と答える人が多い傾向にありました。



▼ 「出身地」と「村の景観の印象」のクロス集計

3.4 景観ワークショップ会議

3.4.1 開催目的

(1) 景観形成に関する住民の意識醸成、理解の促進

景観形成は地域ぐるみの取組であることから、先のアンケート調査の実施と同じく、住民に関心を寄せていただき、まちの景観について少しでも考えていただく機会を創出していくことを狙いとしています。

(2) 闊達な意見交換による地域の特性を踏まえたアイディアの集約

まちをよく知る住民の方が集まり、意見を交わし合うなかで、中札内村らしい、実践しやすい取組みやルールに関する意見を把握することを狙いとしています。

(3) 目指すべき将来像、必要となる取組みを共有

景観形成は、後世に引き継ぐまちの将来であり、レガシーと捉えられます。

まちの活性化や魅力向上を図るうえでは、まず行政と住民・事業者が同じ目線で協働していくことが重要と考えられます。

3.4.2 開催方法

ワークショップは今年度1回、来年度1回の全2回を予定し、開催概要等を検討しました。

第1回目のワークショップでは「景観とは何か」を基調講演にて説明を行ったうえで、「村のどのような景観を大切にしていけるべきか」について、討議するものとなりました。

第2回目は、景観形成に向けて「景観をどのように守り、活用していくか」についてご意見を伺うことを考えます。

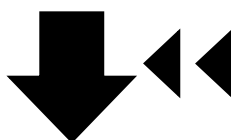
第1回ワークショップ

テーマ：「景観について考えよう」

開催時期：2024年2月

1. 景観とは？⇒基調講演

2. 村民にとって大切な中札内村の景観⇒テーブルワーク



既存資料分析やアンケート調査結果も踏まえ、景観形成の目標像や計画策定範囲を設定

第2回ワークショップ

テーマ：「景観まちづくりを考えよう」

1. 景観の守り方、未来への伝え方について、自分たちができることを考えます

2. 目標像に向かって、景観資源をどのように保全していくか、活用していくか、そのためにはどんなルールや取組みが必要となるかについて意見交換をします。

3.4.3 第 1 回目ワークショップの方針

(1) 開催概要

テーマ	: 景観について考えよう
開催日	: 2024 年 3 月 1 日 (金) 午後 6 時半～8 時半
参加人数	: 12 人
班分け	: 1 班 4 人、3 班構成

(2) 式次第

開会
1. 本日の目的について
2. 村の景観について
3. グループワーク (約 60 分)
4. グループワークの結果について意見交換
閉会

(3) 参加者の考え方

ワークショップでは、まちをよく知る人、まちの将来を支えてくれる人等の、様々な方から意見をいただくことが重要と考えられます。したがって、参加者の募集方法は下記の通りとしました。

・ 一般公募 ・ 村から各関係機関に参加を呼びかけ
--

(4) 参加者の属性とグループ分け

以下、参加者 12 名について、テーブルを 3 班設けて、各々 4 名ずつテーブルワークをしていただくものとしました。

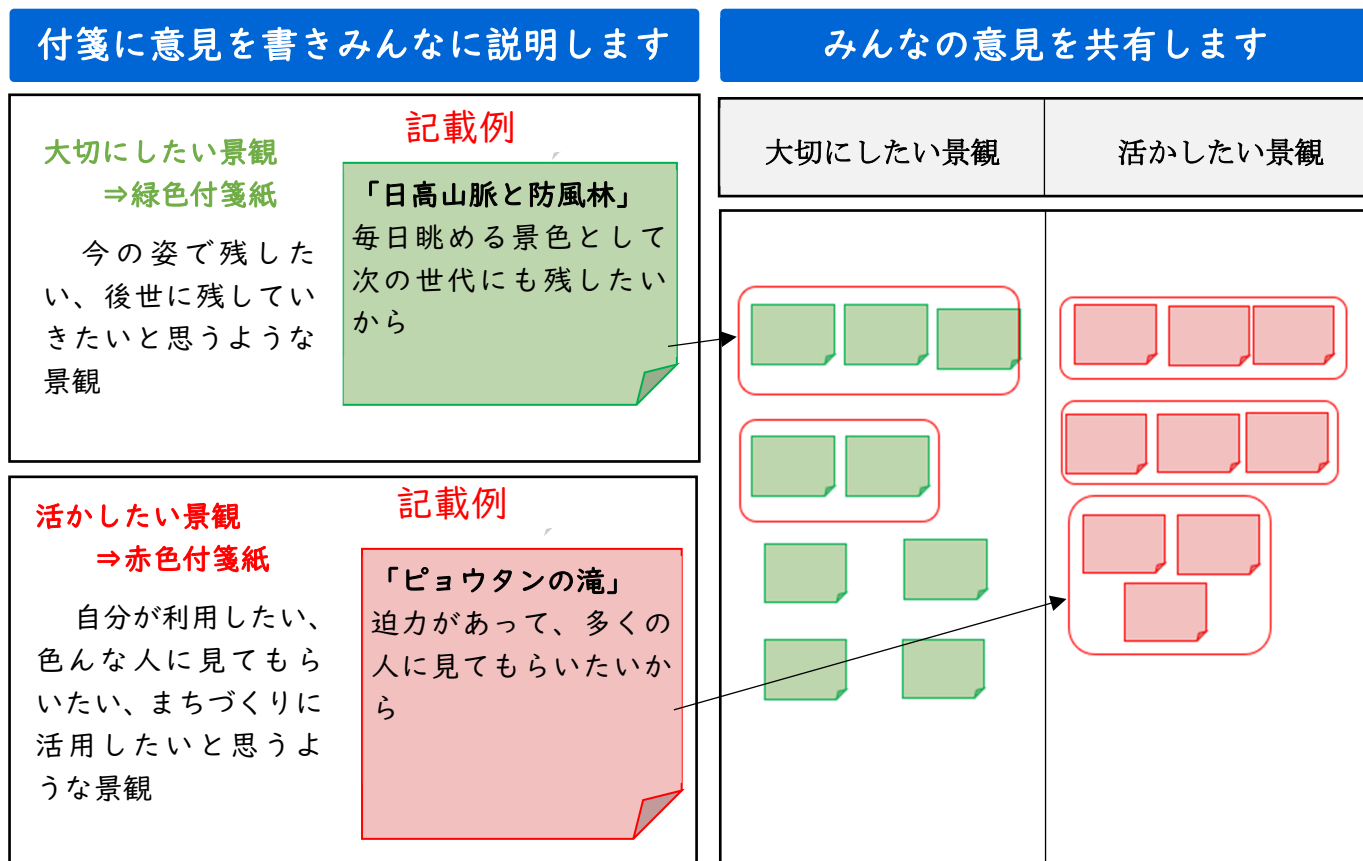
参加者の属性	1 班	2 班	3 班	合計
a) アンケート調査での希望者・一般参加者	1	1	1	3 人
b) 農業に携わっている方々	1	1	1	3 人
c) 自然調査や自然体験に関わってきた方々	1		1	2 人
d) 観光関係に携わっている方々		1	1	2 人
e) 商工関係に携わっている方々	1	1		2 人
合計	4	4	4	12 人

3.4.4 グループワークの進め方

最初に、中札内らしい景観の中で、大切にしたい景観（緑色付付箋）と活用したい景観（赤色付付箋）を参加者にも書いてもらったあと、全員に発表してもらったものとしました。

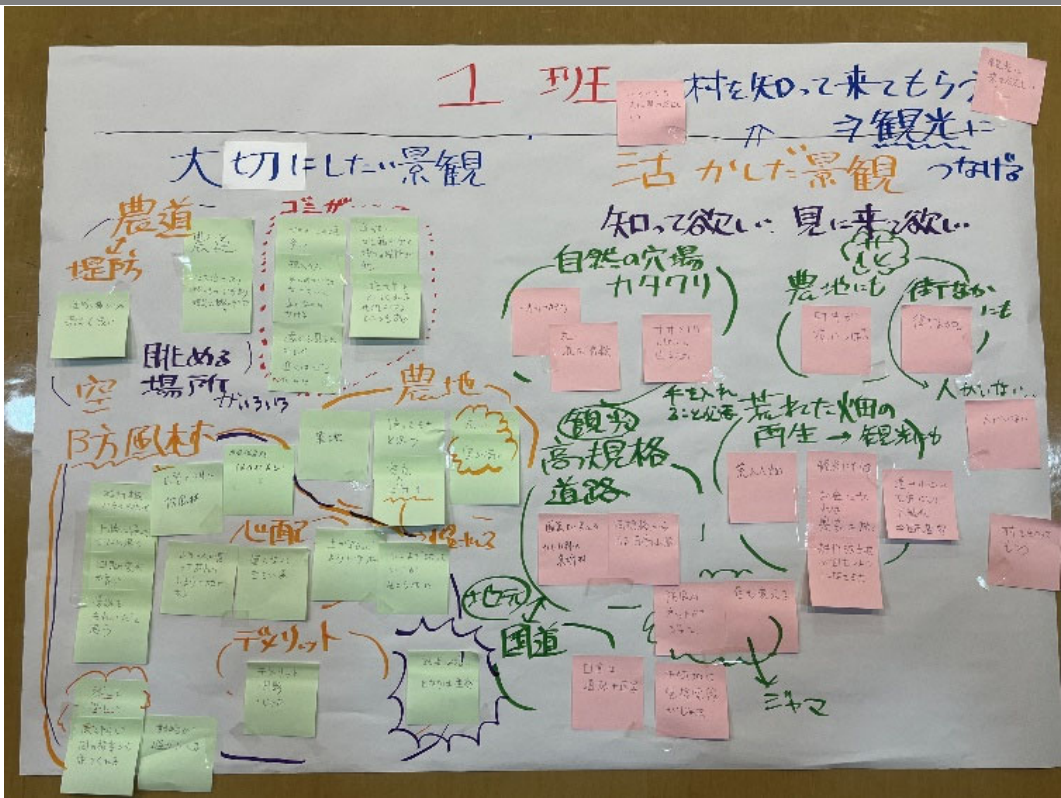
また、進行役が適宜、書いてもらった付箋を模造紙に貼り付けていき、さらに理由を深掘りしたり、他の人の意見も取り入れながら、グルーピング（KJ法）することで、整理を行いました。

最後に、各班の意見を代表者に約3分ずつで発表し、関連なアイデアをひねり出すような仕立てを考えました。

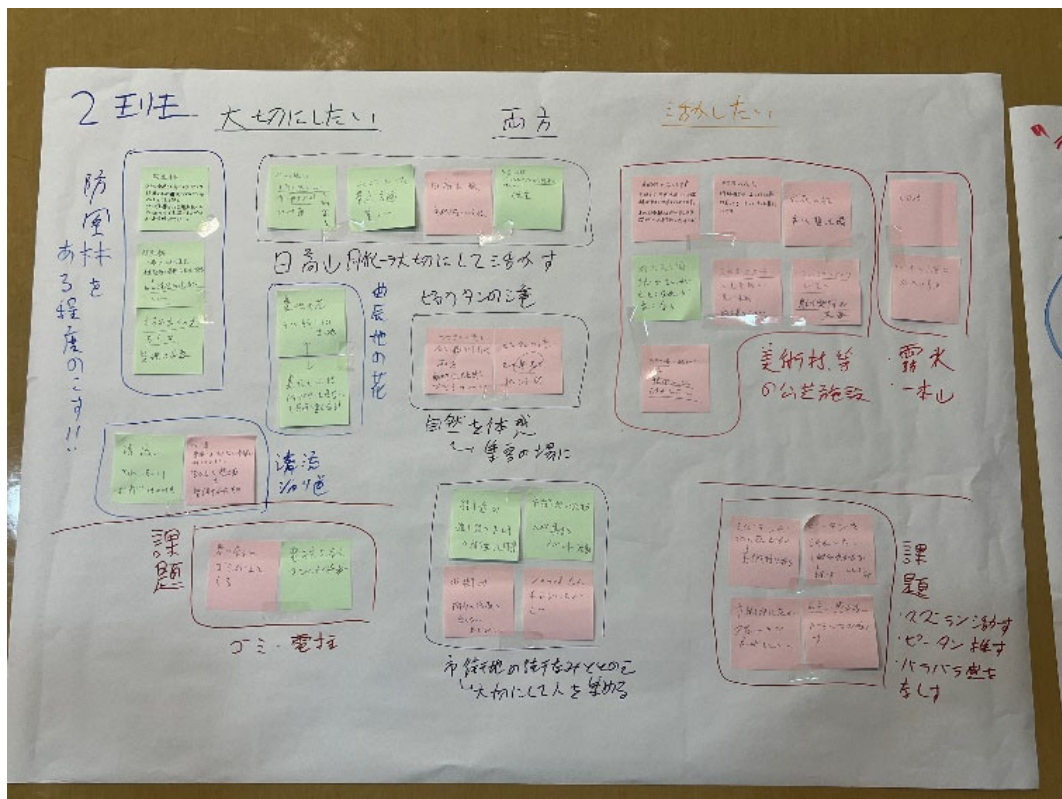


3.4.5 ワークショップ実施

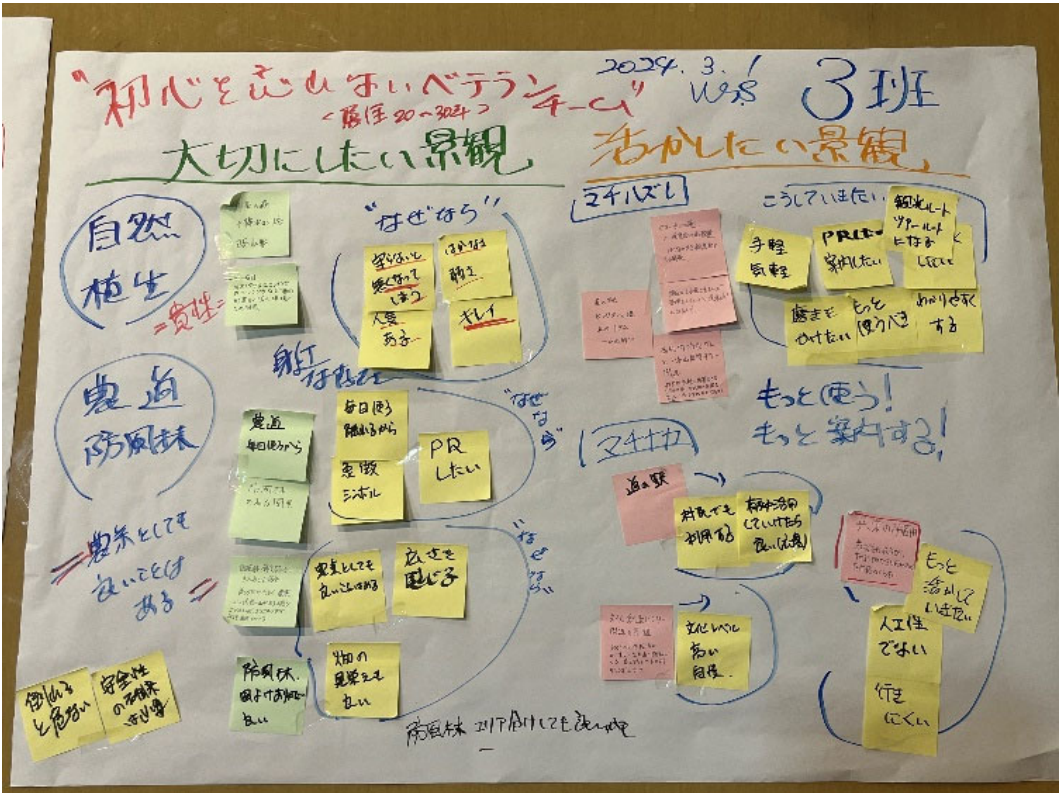




1 班の結果



2 班の結果

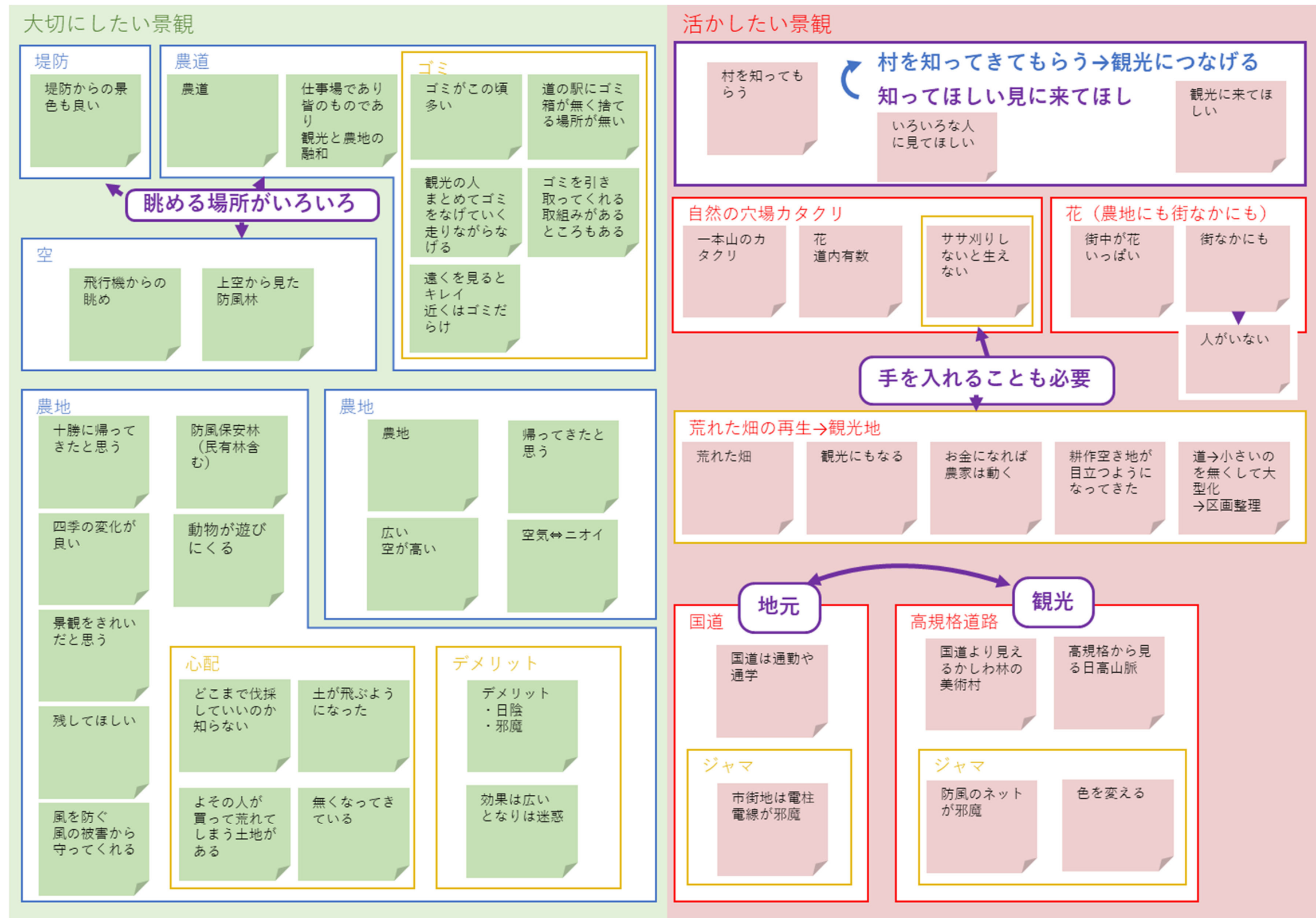


3 班の結果

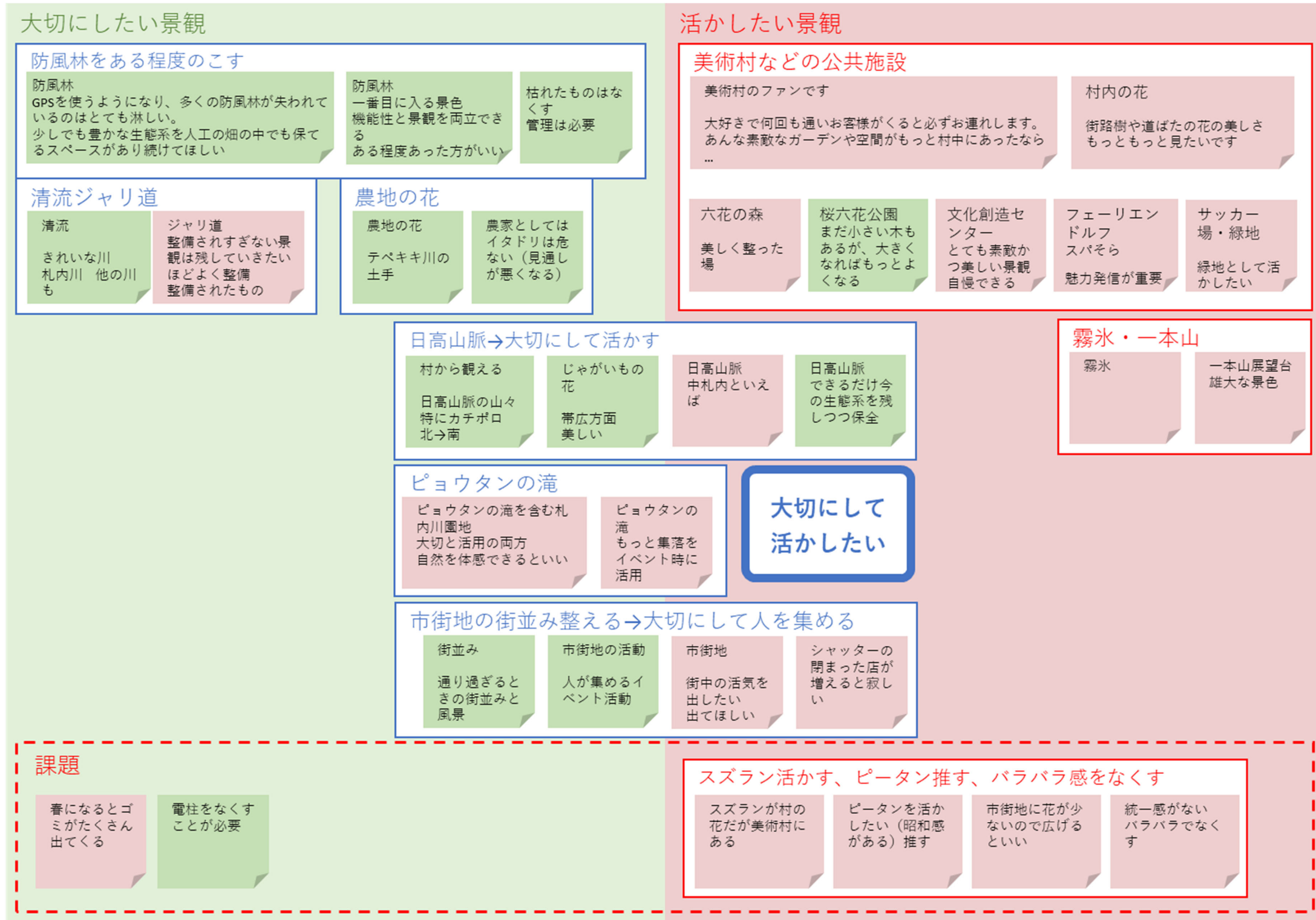
3.4.6 ワークショップの結果

(1) 各班ごとのまとめ

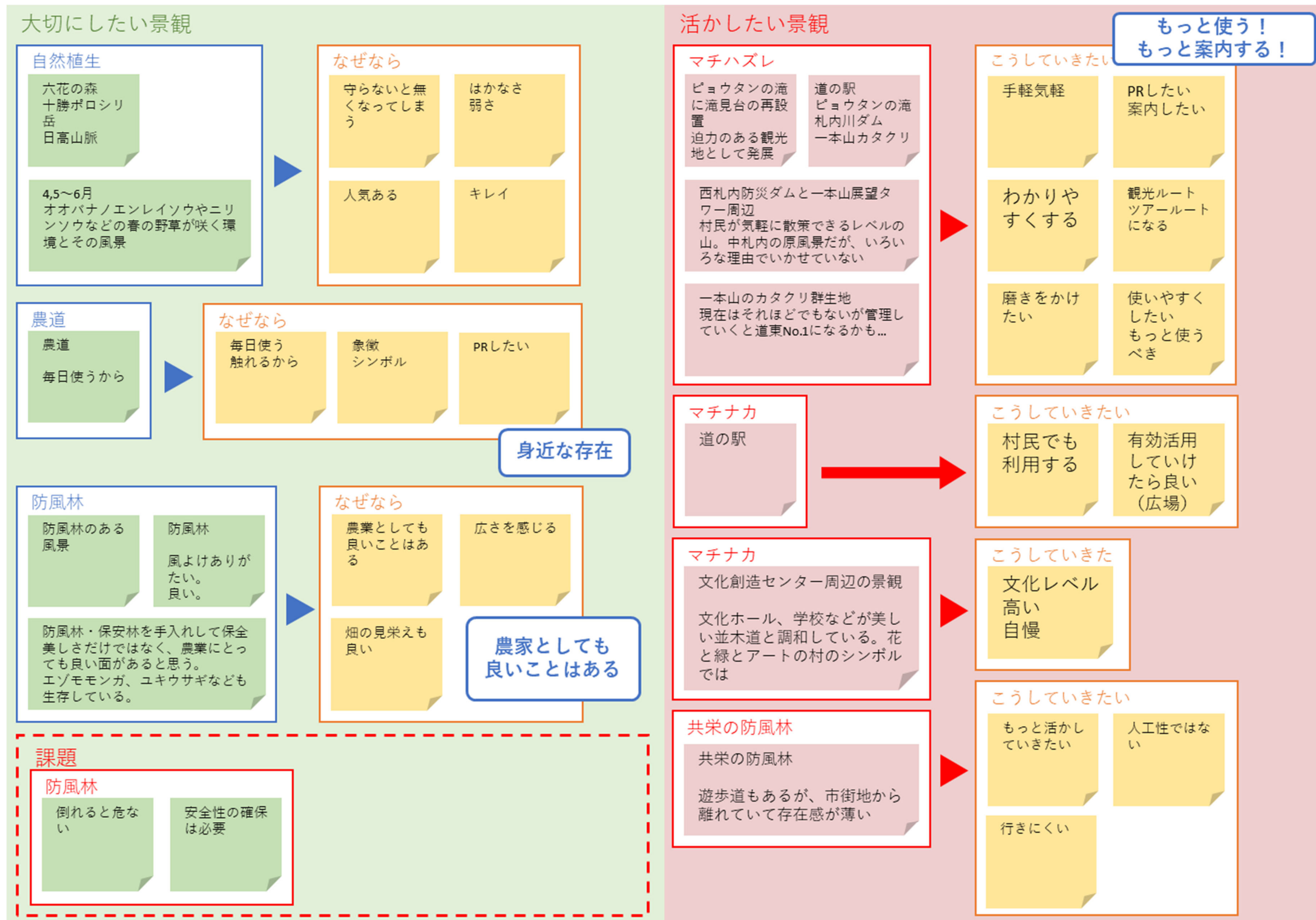
1) 1 班



2) 2 班



3) 3 班



(2) 全班のまとめ

1) 景観資源ごとのまとめ

分類	景観資源	思い	大切にしたい景観			活用したい景観		
			1 班	2 班	3 班	1 班	2 班	3 班
自然	日高山脈 十勝ポロシリ岳	・人気がある、キレイ。 ・高規格から見る日高山脈が素晴らしい。 ・村から見える日高山脈の山々、特にカチポロ（十勝幌尻岳）北→南。 ・中札内といえはの景観だと思う。 ・できるだけ今の生態系を残しつつ保全していきたい。		○	○	○		
	清流、テペキキ川の土手	・札内川はきれいな川である。 ・他にもきれいな川がある。		○				
	オオバナノエンレイソウやニンソウ	・春の野草が咲く環境とその風景が美しい。 ・守らないと無くなってしまう。はかなさ弱さ。 ・人気がある、キレイ。			○			
	一本山カタクリ	・道内有数の自生地だと思う。 ・自然の穴場である。 ・現在はそれほどでもないが管理していくと道東 No.1 になるかもしれない。 ・手軽気軽、PR したい 案内したい、わかりやすくする、観光ルート ツアールートになる、磨きをかけたい、使いやすくしたい もっと使うべき。 △ササ刈りをしないと生えてこないため、手入れが必要。				○		○
農村	農地・畑・農地の花・じゃがいもの花	・農地を見ると帰ってきたと思う。 ・空気やにおいも大切。 ・空が高いと感じる。 ・観光にもなると思うし、お金になれば農家は動くと思う。 ・帯広方面が美しい △小さい道無くして大型化→区画整理が必要。 △耕作空き地や荒れた畑が目立つようになってきた。 △よその人が買って荒れてしまう土地がある。 △農家としては道沿いのイタドリは見通しが悪くなるので危ない。	○	○				
	農道・砂利道	・毎日使うから大切。象徴でシンボルであり、PR したい。 ・堤防からの景色も良い。 ・仕事場であり皆のものである。観光と農地の融和 ・砂利道は整備されすぎない景観として残していきたい。 ・不便でも困るので、ほどよく整備するのがよい。	○	○	○			

分類	景観資源	思い	大切にしたい景観			活用したい景観		
			1 班	2 班	3 班	1 班	2 班	3 班
農地	防風林	・風よけの機能がありがたい。 ・美しさだけではなく、農業にとっても良い面があると思う。 ・エゾモモンガ、ユキウサギなども生存している。 ・広さを感じる。畑の見栄えも良い。 ・上空から見た防風林・飛行機からの眺めが良い。 ・防風林を見ると十勝に帰ってきたと思う。 ・四季の変化が良いし、きれいだと思う。 ・効果は様々。風を防ぐ風の被害から守ってくれるし、動物も遊びにくる。 ・残してほしい。 ・豊かな生態系を人工の畑の中で保てるスペースがあり続けてほしい。 ・一番目に入る景色。 △農業で GPS を使うようになり、防風林が電波を阻害するため切られるようになった。多くの防風林が失われているのはとても淋しい。 △倒れると危ない。安全性の確保は必要。 △保安林を手入れして保全した方が良い。 △防風林がなくなってきている。 △防風林がなくなって土が飛ぶようになった。 △デメリットは日陰や邪魔になること。 △どこまで切っていいのか知らない。 △防風林が植えられている土地の隣は迷惑していると思う。 △機能性と景観を両立させるため、ある程度はあった方がいいと思う。 △枯れたものはなくす等、管理は必要。	○	○	○			
	共栄の防風林	△共栄の防風林遊歩道もあるが、市街地から離れていて存在感が薄い。			○			○
市街地	市街地	・通り過ぎるときの街並みと風景が良い。 △市街地は電柱電線が邪魔。 △人が集まるイベント活動があるとよい。 △街中の活気を出したいし、出てほしい。 △シャッターの閉まった店が増えると寂しい。 △まちなかに統一感がないので、統一感を持たせたらよいと思う。		○		○	○	
	花	・町中が花いっぱいだよ。 ・街路樹や道ばたの花の美しさ もっともっと見たい。 △人がいない。				○	○	
施設	道の駅	・村民でも利用する。手軽気軽に使える。 ・PR したい。お客さんを案内したい。 ・わかりやすくと観光ルートやツアールートになると思う。 ・磨きをかけたい。 ・有効活用していけたら良い（広場）。						○

分類	景観資源	思い	大切にしたい景観			活用したい景観		
			1 班	2 班	3 班	1 班	2 班	3 班
施設	文化創造センター周辺の景観	・文化ホール、学校などが美しい並木道と調和している。花と緑とアートの子のシンボルだと思ふ。 ・とても素敵でかつ美しい景観。自慢できる。 ・文化レベルの高さを感じる。自慢。					○	○
	札内川総合運動公園等の緑地	・緑地として活かしていきたい。					○	
	ピョウタンの滝・札内川園地	・迫力のある観光地として発展してほしい。 ・PR したい。お客さんを案内したい。 ・わかりやすくすると観光ルートやツアールートになると思う。 ・磨きをかけたい。 ・自然を体感できるといい。 ・もっと集落をイベント時に活用する △滝見台を再設置した方がよい。		○				
	札内川ダム							○
	西札内防災ダムと一木山展望タワー周辺	・村民が気軽に散策できるレベルの山。 ・PR したい。お客さんを案内したい。 ・わかりやすくすると観光ルートやツアールートになると思う。 ・磨きをかけたい。 △中札内の原風景だが、いろいろな理由でいかせていない。						○
	桜六花公園	・まだ小さい木もあるが、大きくなればもっと良くなると思う。					○	
	国道	・国道は通勤や通学で使われている。						○
歴史文化	美術村	・国道より見えるかしわ林の美術村が美しい。				○	○	
		・美術村のファン。大好きで何回も通いお客さんが来ると必ず連れていく。あのような素敵なガーデンや空間がもっと村中にあったらよい。						
	六花の森	・春の野草が咲く環境とその風景が美しい。 ・守らないと無くなってしまう。はかなさ弱さ。 ・人気がある、キレイ。			○			
	フェーリエンドルフ	△魅力発信が重要。					○	

2) テーマごとのまとめ

a) 大切にしたい景観

景観資源	景観のとらえ方	課題・取組の方向性
六花の森／十勝ポロシリ岳／日高山脈 春に花咲く野草 オオバナノエンレイソウや ニリンソウ等	守らないと無くなってしまうはかなさ 弱さ 人気がある キレイ	野草が咲く環境とその風景を守りたい
農道	毎日使う・触れる／象徴・シンボル	PR したい
防風林（防風保安林／耕地防風林）	一番目に入る景色／帰ってきたと思う／見栄えが良い／きれい／広さを感じる／風を防ぎ被害から守る／機能性と景観の両立／豊かな生態系を保てる／動物が遊びにくる／空からの眺めが良い／四季の変化が良い／失われると寂しい	倒れると危ない／適正管理・安全性の確保／残してほしい／土が飛ぶようになった／どこまで切ってもいいものかわからない／村外の人を買って荒れてしまう／畑が日陰になる／農作業の邪魔になる
砂利道	ほどよい整備／整備されすぎない景観	残していきたい
札内川／村内の川	清流／きれいな川	
ペベキキ川の土手	農地の花	
農地	帰ってきたと思う／広い／空が高い／村中が花でいっぱい	イタドリは危ない（見通しが悪くなる） 臭いが気になるときがある
作物の花（ジャガイモ）	美しい	
農道	仕事場であり皆のものでもある／眺める場でもある	観光と農地の融和／ゴミを捨てさせない／ゴミを引き取る仕組み／近くの景観をきれいに
堤防	眺める景色が良い	

b) 活かしたい景観

景観資源	景観のとらえ方	課題・取組の方向性
道の駅 ピョウタンの滝 札内川ダム	手軽／気軽 雄大な景色	わかりやすくしたい／磨きをかけたい／ 使いやすくしたい／ピョウタンの滝に滝 見台の再設置／迫力ある観光地と して発展させたい／PR したい／案内 したい／観光ルートにしたい
一本山 カタクリ 展望タワー 西札内防災ダム 道の駅 文化創造センター周辺	道内有数のカタクリ群生地／村民の 散策レベルの山／中札内村の原風 景 村民も利用する 文化レベルが高い／自慢できる 素敵で美しい／美しい並木道と調和 している／花と緑とアートの村のシン ボル	活かしたい ササ刈りしないと生えない 有効活用したい（広場）
共栄の防風林 中札内美術村	自然林／遊歩道がある 素敵なガーデンや空間／スズランがあ る	活かしたい／行きにくい／存在感が 薄い お客様を連れていきたい／もっと村中 にほしい／何回でも通いたい
村内の花 街路樹や道ばたの花	美しい	もっと見たい
六花の森 桜六花公園 フェアリーエンドルフ スパそら	美しく整っている	大きく育てほしい 魅力発信が重要
サッカー場		緑地として活かしたい
農地 村の景観		荒れた畑の再生・観光活用／小さな 道を無くして大型化／区画整理 知ってもらいたい／見てもらいたい／ 観光に来てほしい

c) 大切にしたい景観

景観資源	景観のとらえ方	課題・取組の方向性
日高山脈 十勝ポロシリ岳	村から観える 中札内といえば	できるだけ今の生態系を残しつつ保全
ピョウタンの滝 札内川園地 集落	大切	自然を体感できるといい イベントに活用
街なか・街並み スズラン・ピータン	通り過ぎるときの風景 イベント・活動の場 花がいっぱい 村の花	人を集めたい 活気を出したい シャッター街は寂しい 花が少ない／広げたい 昭和感がある 推したい／活かしたい スズランとの統一感を出したい
高規格道路 国道 道路	日高山脈の眺め カシワ林の美術村 通勤や通学に利用	観光に活かしたい 防風ネットが邪魔／色を変えたい 市街地は電柱電線が邪魔 春になるとゴミがたくさん出てくる 電柱をなくすことが必要

3.5 その他：防風林について

(1) 村民の意見(アンケート&ワークショップ)

- ・防風林は中札内に欠かせない大切な景観資源であるという意見が多いです。防風機能だけでなく動物の貴重な棲み処にもなっているという点も挙げられています。
- ・ワークショップに参加していた若手の農家の全員が、防風林が大切な景観資源であり、また防風の観点からも必要であると述べていました。一方で、防風林は必要ないと感じている農家が多いことも事実であるという意見も出ていました。

(2) 課題

1) 農作業への支障

- ・農作物への日照障害、落ち葉による作業支障の要因となります。自分の敷地だけでなく、隣家に植えられている防風林がそのような要因になることもあります。
- ・農地の集約化に伴い、GPS を使うようになったことで、防風林が電波を障害してしまう問題があります。また防風林を伐採して一体で農地として使用できるほうが作業の効率化になるといったこともあります。

2) 管理面での懸念

- ・古くなった防風林が放置されると倒れる危険性もあり、管理が必要です。
- ・倒れた防風林がそのまま放置されているものもあります。カラムツやエゾマツは寿命が短くすぐにダメになる。何を植えるか樹種の選択の工夫も必要です。
- ・防風林を更新しようとしても新芽がシカに食べられて育たない等の問題もあります。

(3) 今後の方向性

- ・農家も防風林のメリットを感じていることが分かりました。ただ農作業への支障が生じていることも事実であることから、防風林の機能と良好な景観の維持、農作業の効率化をバランス良く行っていくための何らかの対策が必要です。
- ・村では新たな植栽に対する補助はあるが、現状の維持や管理、育成についても、ワークショップ等を通じて村民との対話を継続していく必要があります。

4 中札内村景観まちづくり委員会の運営支援

令和5年度は中札内村景観まちづくり委員会を全3回開催しました。
開催概要は下記の通りです。

4.1 第5回景観まちづくり委員会

日 時：令和5年9月11日（月） 18：30～20：30

場 所：中札内役場

参加者：委員 金澤和彦、片山祐二、下埜智加、保坂裕子

事務局 総務課長補佐 下浦強、総務課主査 竹村幸二、総務課主事 吉田彩乃

オブザーバー パシフィックコンサルタンツ 宮崎栄一郎、市川基和、原彩菜

【議事次第】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項

【会議要旨】

- ・景観計画策定業務の発注にあたって、3社を指名して選考を行った結果、パシフィックコンサルタンツに業務委託をすることとなりました。
- ・計画を作成するにあたって、今年度、村民の意向を把握するためのアンケート調査を実施します。これを受け、さらに詳しく村民の意向を吸い上げるためにワークショップを開催します。それらの結果については、来年3月開催予定の景観まちづくり委員会で報告します。
- ・原風景を残すための課題として、道路上の雑草の刈り取り、農家の世代交代や農業の大規模化により耕地防風林の伐採が進んでいること、沿道の花づくり活動が高齢化等により継続が厳しくなっていることなどが挙げられました。
- ・防風林、日高山脈、畑を景観要素とした視点場の公表については、畑に人が踏み入ってしまう等のオーバーツーリズムから難しい状況であるとの意見が出されました。一方で、自分が思い入れを持って手入れしている場所に観光客が写真を撮りに来てくれることがやりがいにもつながっているという意見も出されました。
- ・村外の人たちの意見を把握するにあたって、観光協会に、過去に旅行者に行ったアンケート結果のデータ提供を依頼することとなりました。
- ・アンケート案について、村民が大切に思う景観資源をもらさず把握するために、自由記述がある旨を問の説明文にも記載します。
- ・アンケート案の居住地区について、市街地をもう少し細かく設定することを検討します。
- ・ずっと中札内村居住なのか、村外から来たのかで意見がどう変わるのかを把握するため、「生まれてずっと中札内村かそうではないか」という旨の設問を追加します。
- ・連絡事項として、9月30日にビューティフルデイを予定。11月から美しい村通信に文章を寄せる予定です。中札内村の良い景観の写真をSNSに定期的にアップしていく予定です。

4.2 第1回景観まちづくり委員会

日 時：令和5年12月18日（月） 18：30～20：50

場 所：中札内役場会議室2

参加者：委員 金澤和彦、片山祐二、下埜智加、歌野裕美、渡部弘正、林理央、柴田裕貴也

村長 森田匡彦

事務局 総務課課長 中道真也、総務課長補佐 下浦強、

総務課主査 竹村幸二、総務課主事 吉田彩乃

オブザーバー パシフィックコンサルタンツ 宮崎栄一郎、遠藤太一、原彩菜

【議事次第】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 村長あいさつ
4. 景観まちづくり委員会の概要について
5. 景観アドバイザーについて
6. 景観形成等に関する取組の経過について

【会議要旨】

- ・金澤和彦さん、片山祐二さん、下埜智加さん、歌野裕美さん、渡部弘正さん、林理央さん、柴田裕貴也さんの7名が、今期の景観まちづくり委員会の委員として受嘱しました。
- ・委員の互選によって、会長は金澤さん、副会長は歌野さんに決定しました。
- ・11月に実施したアンケート結果と来年予定しているワークショップの方針を共有しました。

<アンケートについて>

- ・村民が大事にしたい景観は、アンケートで回答が集まった「ピョウタンの滝」のような名前が付けられるものだけではなく、自分の家の庭や、ちょっとした裏道などではないかという意見が挙がりました。

<ワークショップについて>

- ・中札内村の景観は、農業などの村民の生業に関係が深く、そういった関係者を含めてワークショップを実施する必要性を確認しました。
- ・景観が良くなることで、村に訪れる人が増えることが考えられるため、ワークショップでは、観光協会や商工会の方もいた方が良いという意見が出ました。
- ・第一回の方針にある将来イメージを描くことは難しく、抽象的になるのではといった意見もありましたが、村の外での居住経験がある方と、村で長く住んでいる方が意見を交換することで、将来イメージが見えてくるのではといった意見もありました。
- ・ワークショップの冒頭で、ワークショップの目的を共有する必要があるという意見がありました。
- ・道の駅や文化創造センターなど、どのように景観として捉えれば良いか分からないものもあるため、ワークショップでは、参加者に景観の定義について共通認識を持ってもらう必要があるという意見が出ました。

4.3 第2回景観まちづくり委員会

日 時：令和6年3月25日（月） 18：30～20：30

場 所：中札内役場

参加者：委員 金澤和彦、片山祐二、下埜智加、歌野裕美、渡部弘正、林理央、柴田裕貴
事務局 総務課長補佐 下浦強、総務課主査 竹村幸二、総務課主事 吉田彩乃
オブザーバー パシフィックコンサルタンツ 宮崎栄一郎、大西実花、原彩菜

【議事次第】

1. 開会
2. ワークショップの結果について
3. 令和6年度の検討スケジュールについて

【会議要旨】

- ・景観資源の整理にパスの要素を加える必要があります。旧国鉄の軌道線跡の中の通りが、散歩道や通学路等、生活の中で使われる道となっており、そのパス上には小中学校や文化創造センター、鉄道記念公園があり、村民にとって大切な要素になっています。そのような空間に身近な緑があることが大切であり、「町中にも緑を」という意識が必要であります。
- ・耕地防風林は守っていくべき中札内村の魅力的な景観要素ではありますが、個人所有のものです。全てを切るのではなく残しておける範囲はないかなど、どうやったら残していけるか対策を一緒に考えることが大切であり、そのようなプロセスを踏んで理解を促すことが重要であります。またそのような防風林を農地だけに求めるのではなく、市街地や身の回りの緑についても同様に考えていく姿勢を持たなければなりません。
- ・現状の耕地防風林の状況は、航空写真で把握できるレベルでもよいので、基礎的なマップを整理すべきであります。
- ・国道のシラカバについては、安全面の調査からあのような伐採がなされている可能性もあるので、道路管理者に確認したうえで、議論を進める必要があります。
- ・公益的機能別施業森林の快適環境形成機能で示されています、「農村環境保全林（中札内村独自ゾーン）」の設定方法について確認します。
- ・中札内村には都市計画はないため、届け出の提出や住民の同意が必要ということを景観計画で定める等、景観計画の中で、都市計画に代わるまちづくりの方向性を示すことが望ましいと考えられます。
- ・次回のワークショップでは、課題を出すことを主とするのではなく、あらかじめ課題は整理しておき、話し合いでは、取組の具体的な方法について深く聞きます。次回のワークショップの結果から、景観計画の方向性を決める必要があるため、次回のワークショップでそのような議論ができるように準備を進めることが重要であります。

5 職員タスクフォースの運営支援

関連課の職員が自らまちづくりのための景観上の課題や施策を提案するため、庁内職員によるタスクフォースを催し、それに係る資料の作成など会議運営支援を行いました。

5.1 職員タスクフォース会議のメンバー

役割	担当課	役職	氏名	景観に関する業務内容
会員	副村長		山崎 恵司 (座長)	
	総務課	課長	中道 真也	広報、行政区活動、法制事務（総務グループ） 景観づくり、地域振興、ふるさと納税、財政（企画財政グループ）
	住民課	課長	山崎 恵司	廃棄物（住民グループ） 会計全般（税務出納グループ）
	福祉課	課長	高桑 佐登美	保育園（文化創造センターに隣接）（福祉グループ） 保健グループ 健康づくり事業（ウォーキング事業・アプリとの連携）、生活習慣病呼ぶ 保育園 保育園（認定こども園 中札内きらきら保育園）
	産業課	課長	尾野 悟里	観光振興、花づくり、農産振興、畜産振興、林業振興（産業グループ）
	施設課	課長	川尻 年和	建築確認申請、村営施設の管理、公園管理、道路維持（施設グループ）
	教育委員会事務局	次長	渡辺 大輔	社会教育振興、アート事業、文化振興、スポーツ振興（教育グループ） 給食（学校給食共同調理場）
	農業委員会事務局	事務局長	野原 誠司	農地関連
	議会事務局	事務局長	平澤 悟	（選挙に関すること）
事務局	総務課	企画財政グループ課長補佐	下浦 強	広報、行政区活動、法制事務（総務グループ） 景観づくり、地域振興、ふるさと納税、財政（企画財政グループ）
		企画財政グループ主査	竹村 幸二	
		企画財政グループ主事	吉田 彩乃	

5.2 開催概要

(1) 第1回職員タスクフォース

日 時：令和5年8月30日

場 所：中札内村役場

出席者：発注者（会員）山崎、中道、高桑、尾野、川尻、渡辺、野原、平澤

（事務局）下浦、竹村

受注者 PCKK 宮崎、遠藤

【議事次第】

1. 開催主旨説明
2. タスクフォースの構成員
3. 開催スケジュール
4. 会議の進め方
5. 第1回勉強会のプログラム「景観計画について」

【会議で出た意見】

1) 現行施策との関係

- ・「中札内スタイル住宅建築基準」に適合する住宅を新築又は購入する場合は奨励金を出しているのので、景観計画との整合性を図る必要
 - ・高齢者福祉にとって、日常的に外で歩くことと健康長寿との相関は確認されており、景観×ウォーキングを推進している事例もある。現在の「中札内グリーンウォークマップ」を更新し、例えば「中札内景観ウォーキングマップ長寿版・子育て版」といったものを一緒に考えさせていただければ。
- ⇒すこやかロードといくつかの公園は福祉課が所管しており、管理が大変。

2) 規則・ルール

- ・明確な規制と助成がなければ現状と変わらない可能性がある一方、規制まで踏み込むとハレーションが起こる可能性もある。例えば既存の大型看板の整理をする場合、規制だとハレーションが生まれるが、ガイドラインという選択肢もある。
- ・街路樹などは区域を分けて、重点的に整備することも考えられる・

3) 国道・道道

- ・国道・道道を景観重要公共施設として指定し、眺望が優れている箇所の除草をきちんとしていただくことを、管理者に要請していきたい。
- ・帯広方面から村に来る途中のサボテンのように剪定されたシラカバが、イメージダウンにつながっている。街路樹を植えるのであれば、木を大切に管理するという面も考える必要があるのでは。

- ・街路樹を完全になくすといったこと事例について知りたい。

4) 防風林

- ・機械の大型化等の理由で、耕地防風林が作業の障害になっており、農家に伐採される傾向にある。防風林はいらないと感じている人が多いように思う。耕地防風林は規制がないため実際に伐採されている。耕地防風林の取り扱い方は農家の方々との協議が必要。今の若い方から理解を得る必要がある。

5) 街路樹について

- ・街路樹が強風で倒れるといったトラブルがあり必要性に疑問。完全に無くした事例を知りたい。
- ・一方で景観まちづくり委員会からは「市街地に緑が少なすぎる」という指摘もあり、国道のサボテンのように剪定されたシラカバは、イメージダウンにつながっている。区域を分けて整備することもある。

6) 景観や屋外広告物の規制について

- ・規制まで踏み込んで考える場合、ハレーションが起きると思うので、ワークショップで事業者との合意形成が重要。

7) ワークショップの参加者について

- ・ワークショップでは、景観に興味のない方も構成メンバーに入っていただく必要があるのでは。公募のみでは、興味がある人しか来ない。

8) 福祉と景観計画との関係について

- ・すこやかロードといくつかの公園は福祉課が所管しており、管理が大変な部分もある。

(2) 第2回職員タスクフォース

日 時：令和 5 年 3 月 25 日

場 所：中札内村役場

出席者：発注者（会員）山崎、中道、高桑、尾野、川尻、渡辺、野原、平澤
（事務局）下浦、竹村、金沢

受注者 パシフィックコンサルタンツ宮崎、大西、原

【議事次第】

1. 第一回の協議内容の振り返り
2. アンケート調査結果説明
3. ワークショップ結果説明
4. 令和 6 年度の検討スケジュール説明

【会議で出た意見】**1) 村民の景観への関心・規制やルールづくり**

- ・景観に対する意識は高いと考えられる。8 割の方が景観に関心を持っており、高い割合といえる。そのような状況で、如何にルール作りをしていくかについて、村民の方々の意見をしっかり聞いていく必要があると思う。

2) アンケートの回収率

- ・村で実施した他のアンケートでは、4 割を超えるものが多く、今回は 30.8%と低いように感じる。ただしアンケート結果をワークショップに活かしているのであれば、問題ないという認識である。

3) 景観に関する課題意識

- ・ソーラーパネルやタイヤ等、ぱっと見て目立つものが意識されており、個人の住宅に対する規制の意識等は薄いように思う。建物自体に対する意見はあまりみられず、軒先や街路の緑に対する意見が多くみられた。また、畑脇の緑や建物周りの緑等、生活空間に対する意見が多かった印象。

4) 農道

- ・整備されすぎていない砂利道が、自分たちの生活の中の道として大切であるという意見が全班で挙がっていた。畑、砂利道、遠方の山が一体で眺められ、景観的に良いということだと思う。砂利道は、整備された道より、畑や山と調和して見えると思う。これは新しい視点である。

5) 耕地防風林

a) 現状

- ・農林漁業以外の回答者で、防風林を「保全したい景観」として選んだのは、48.9%だったのに対し、農林漁業の回答者で選んだのは、11.1%（18人中2人）。実際に農家さん向けに耕地防風林についての説明は行ってきてはいるが、当事者は耕地防風林によって直接収入に悪影響があるという話も聞く。今回のアンケートのクロス集計の結果は、実際の評価を反映していると思います。

b) 課題

- ・農家の方々が管理してきた耕地防風林と、森林法で管理されている防風保安林を一緒に考えることはできないので、分けて考えることは不可欠であります。耕地防風林は、あくまで個人所有のものであるため、切ること自体に反対はできないが、例えば、大型機械に干渉しない範囲に耕地防風林を残してもらう等、合意のうえで何かしらの策を考えることはできると思います。本業務で議論が必要になるのは、耕地防風林をどう守っていくかということです。
- ・若い世代の農家の方々が、反対する農家の方々と違い、良いと思う理由が気になります。例えば、実際の経営には携わっていないために、耕地防風林が収益を下げていることを実態として把握していない可能性もあると思います。
- ・耕地防風林が、商業活動に支障をきたすところまで入り込んできて邪魔となっているのか、それとも、そこまでは妨げとなっていないのか等、どの程度のレベルで農業に影響を与えているのか、ということが分からないと、村民への説明も難しいと思う。そのようなことを把握したうえで、計画を練る必要があります。
- ・耕地防風林については、景観的な視点だけではなく、伐採したことで、砂が飛びやすくなったという意見もあり、どのくらいであれば切っても問題ないのか、また、どこまで切ると砂の被害が生じるのか等、技術的な部分で分からないところがあるという意見も挙がっていました。そのような内容についても農家の方々と話をしながら進めていく必要があると思います。
- ・耕地防風林と営農を考えると、技術的な面では、例えば、農業組合に「耕地防風林があってもこの辺りは反収が高い」ということを示してもらう等が必要で、そのような農業組合の理解と協力がなければ、農家の方々に浸透していかないと思います。
- ・アンケートやワークショップを通して、耕地防風林を大切に思っている村民がたくさんいることが確認できた一方で、農家の方々にとっては、耕地防風林を残すと収益が下がるという問題があります。「無いよりはあった方がよい」というように他人事に考えるのではなく、「残していくには、村民として、また、村としては何ができるのか」ということを深めていく必要があります。また、耕地防風林が、畑のどの程度の範囲に影響を及ぼしているのかの確認や、ここ10～20年でどのくらいの耕地防風林が減少しているのかという客観的な整理も必要であると考えています。
- ・耕地防風林があることで、冬季は道路が日陰になって凍ってしまい、危険であるということも指摘されています。一方で、吹雪の中では、耕地防風林があることで、道の境

目が見分けやすくなり、また風よけにもなるという利点もあると思います。景観計画を策定するにあたっては、良い面・悪い面の片側だけを見るのではなく、両面の要素をきちんと把握すべきであります。

c) 対応策の検討

- ・長年経っても樹高 15m 程度で留まり、景観も良く、畑にも良いような樹種を考え、そのような中低木の樹種を選定し、PR していくという方向性も考えられるのではないのでしょうか。現状の補助制度では、樹種の縛りはない状態だが、縛りはせずとも、樹種をある程度誘導するようなことは考えられるかもしれません。
- ・残っている樹木の伐期を考慮したうえで、樹種を選定を検討すべきです。今の若い世代が、伐期を迎えたものの伐採後に、また改めて植えようという気があるのであれば、新しく植えたものが防風効果を持つまで時間は要するが、一度伐採すること自体には、問題はないと思う。そのようなことも踏まえ、樹種を選定について助言できるとよいです。

6) 令和6年度の検討予定

- ・来年度以降もタスクフォースは継続し、次回は 2024 年 6 月頃に開催予定。